

外 国 語 学 部

【外国語学部英米科】

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2101	アメリカの文化	1	必	4	岩野一郎 他	
2121	英語Ⅱ(作文)(1)	1	必	4	橋本 恵	
2122	(2)				堀部 充	
2123	(3)				近藤 祐一	
2124	(4)				松永 隆	
2125	(5)				佐々木 剛志	
2126	(6)				有元 将剛	
2221	英語Ⅱ(会話)(1)	2	必	6	J. Nord	英語Ⅰ会話の単位をすでに得ている者に限る
2222						
2223	(2)				B. Wagner	
2224						
2225	(3)				C. B. Wordell	
2226						
2227	(4)				T. Bauerle	
2228						
2231	英語Ⅱ(訳読)(1)	2	必	2	宮川 佳三	
2232	(2)				佐々木 剛志	
2233	(3)				田中 幸子	
2234	(4)				小宮 富子	
2201	基礎演習 A (1)	2	必	4	堀部 充	
2202	A (2)				佐々木 剛志	
2203	A (3)				西脇 博	
2204	A (4)				近藤 祐一	
2206	基礎演習 B (1)	2	必	4	明石 陽至	
2207	B (2)				岩野 一郎	
2208	B (3)				岩島 久夫	
2209	B (4)				金井 光太郎	
2210	B (5)				宮川 佳三	
2299	語学総合試験	2	必	0	M. Wright	英語Ⅰ会話の単位をすでに得ている者に限り受験できる。

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2321	英語Ⅲ(作文)	3	必	2	B. Wagner	Reading and Composition
2322					M. Wright	
2323					J. Vincenti	
2324					T. Bauerle	
2325					G. Yardley	
2326					C. B. Wordell	
2351	英語Ⅲ(講読)	3	必	2	B. Wagner	Composition
2352					M. Wright	
2353					J. Vincenti	
2354					T. Bauerle	
2355					G. Yardley	
2356					C. B. Wordell	
2301	演習Ⅰ	3	必	4	有元 將剛	A群
2302					橋本 恵	
2303					堀部 充	
2304					松永 隆	A群・B群共通
2305					T. Murphey	
2306					近藤 祐一	B群
2307					岡部 朗一	
2308					岩島 久夫	
2309					金井 光太郎	B群
2310					西村 貞雄	
2311					明石 陽至	
2312					宮川 佳三	
2313					H. Wray	
2421	英語Ⅳ [Theme Discussion] (1)	4	必	4	L. Hanzel	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	英 語 IV	4	必	4		
2422	{Theme Discussion} (2)				E. Skrzypczak	
2423	{Theme Discussion} (3)				J. Lenihan	
2424	{Theme Discussion} (4)				G. Yardley	
2425	{Theme Discussion} (5)				H. Wray	
2401	演 習 II	4	必	4	有 元 将 刚	} A群
2402					西 脇 博	
2403					橋 本 惠	
2404					C. B. Wordell	
2405					佐々木 刚 志	
2406					近 藤 祐 一	} A群・B群共通
2407					岡 部 朗 一	
2408					明 石 陽 至	} B群
2409					岩 野 一 郎	
2410					岩 島 久 夫	
2411					金 井 光太朗	
2412					西 村 貞 雄	
2413					R. Riemer	} 前期
	A 群					
2501	言語学方法論 英米文学概説	2	指	4	有 元 将 刚	
2511	(1) アメリカ文学	2	選	4	堀 部 充	
2512	(2) イギリス文学	2	選	4	橋 本 惠	
2520	英語の構造	3・4	選	4	佐々木 刚 志	
2522	英語音声学	3・4	選	4	松 永 隆	
2525	英語史	3・4	選	4	中 尾 祐 治	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2531	英語学特殊講義(1)	3・4	選	4	田中春美	
2532	英語学特殊講義(2)	3・4	選	4	足立公也	
2533	英語学特殊講義(3)	3・4	選	4	公平珠躬	
2534	英語学特殊講義(4)	3・4	選	4	J. Nord	他学科履修不可
2535	英語学特殊講義(5)	3・4	選	4	T. Murphey	
2536	英語学特殊講義(6)	3・4	選	4	松永隆	他学科履修不可
2541	英米文学特殊講義(1)	3・4	選	4	C. B. Wordell	
2542	英米文学特殊講義(2)	3・4	選	4	磯野守彦	
2543	英米文学特殊講義(3)	3・4	選	4	鈴木俊次	
2560	記号論理学	2・3・4	選	4	服部裕幸	文学部開講科目
2561	歴史・比較言語学	3・4	選	4	西脇博	
2563	意味論	3・4	選	4		本年度休講
2564	言語の哲学	3・4	選	4	服部裕幸	文学部開講科目
2565	コミュニケーション論	3・4	選	4	岡部朗一	
2567	コミュニケーション 特殊講義	3・4	選	4	近藤祐一	
2571	外国語としての 英語教授法	3・4	選	4	L. Hanzel	他学科履修不可
	英語表現特殊研究					
2581	マスメディアの英語	3・4	選	4	L. Hanzel	他学科履修不可
2585	英語通訳法	3・4	選	4	近藤祐一	他学科履修不可
2587	英語翻訳法	3・4	選	4	E. Skrzypczak	他学科履修不可
2588	英語スピーチ	3・4	選	4	岡部朗一	他学科履修不可
2591	商業英語	3・4	選	4	M. Wright	他学科履修不可
2598	Intensive Comprehension & Speed Reading	3・4	選	4	宮川佳三	他学科履修不可
	B 群					
2601	アメリカ史	2	指	4	金井光太郎	

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2602	イギリス・英連邦史	2・3・4	選	4	奥田伸子	
2604	経済原論	2	選	4	西村貞雄	
2613	社会学概論	2・3・4	選	4	R. Riemer 藤本哲史	(前期+夏期集中)
2606	英米の思想	3・4	選	4	松岡泰	
2610	英米の社会	3・4	選	4	岩野一郎	
2621	アメリカの宗教	3・4	選	4	梶原寿	
2622	アメリカの文学	3・4	選	4	堀部充	
2631	アメリカの政治(1)	3・4	選	4	岩野一郎	
2632	アメリカの政治(2)	3・4	選	4	金井光太郎	
2641	アメリカの外交(1)	3・4	選	4	宮川佳三	
2642	アメリカの外交(2)	3・4	選	4	H. Wray	
2643	アメリカの経済	3・4	選	4	西村貞雄	
2646	アメリカの法制	3・4	選	4	丸山英二	法学部開講科目 (隔週)
2651	アメリカ史特殊講義(1)	3・4	選	4	安武秀岳	
2652	アメリカ史特殊講義(2)	3・4	選	4	H. Wray	
5521	国際経済学	3・4	選	4	山田正次	経済学部開講科目
2676	国際経済学特殊講義	3・4	選	4	西村貞雄	
2680	国際政治論	3・4	選	4		
2682	国際政治論特殊講義	3・4	選	4	岩島久夫	
2684	国際企業論	3・4	選	4	A. Jaquinto	経営学部開講科目 前期
5523	開発経済学	3・4	選	4	林尚志	経済学部開講科目
2686	外交史 I	3・4	選	4	明石陽至	
2687	外交史 II	3・4	選	4	佐々木雄太	
	自由科目					
1801	文学論	3・4	自	4	丸岡高弘	文学部開講科目
2805	産業組織論	3・4	自	4		本年度休講

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
5542	財 政 学	3・4	自	4	末 重 正 行	経済学部開講科目
5543	金 融 論	3・4	自	4	荒 井 好 和	経済学部開講科目
5811 5812	会 計 原 理	3・4	自	4	白 木 俊 彦	経済学部開講科目
5835	民 法 I (1)	3・4	自	4	柳 澤 秀 吉	経済学部開講科目
5851	商 法 I	3・4	自	4	篠 田 四 郎	経済学部開講科目
5871	行 政 法	3・4	自	4	市 橋 克 哉	経済学部開講科目
6104	経 営 学 総 論	3・4	自	4	岸 田 民 樹	経営学部開講科目 (前期+夏期集中)
6136	マーケティング論	3・4	自	4	中 田 善 啓	経営学部開講科目 (隔週)
6305	情報処理概論 (Basic) 1	3・4	自	4	村 本 正 生	経営学部開講科目
6306	情報処理概論 (Basic) 2	3・4	自	4	村 本 正 生	経営学部開講科目
6307	情報処理概論 (Fortran)	3・4	自	4	井 垣 伸 子	経営学部開講科目 (夏期集中)
6308	情報処理概論 (Cobol)	3・4	自	4	山 田 進	経営学部開講科目
6309	情報処理概論 (Pascal)	3・4	自	4	村 本 正 生	経営学部開講科目
8001	憲 法 I	3・4	自	4	小 林 武	法学部開講科目
8120	国 際 法 I	3・4	自	4	岡 田 泉	法学部開講科目
8390	国 際 私 法	3・4	自	4	青 木 清	法学部開講科目
	随 意 科 目					
2901	英 語 II 訳 読	89生以上	随	2	香 取 真 理 子	} 他学科用 予備登録した 学生に限る
2911 2931	英 語 II 作 文 英 語 作 文 (上級)	89生以上 2・3・4	随	2	丹 下 省 吾	
2921 2941	英 語 II 会 話(1) 英 語 会 話 (上級) 1	89生以上 2・3・4	随	2	D. Dycus	
2922 2942	英 語 II 会 話(2) 英 語 会 話 (上級) 2	89生以上 2・3・4	随	2	D. Dycus	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2923 2943	英語Ⅱ 会話(3) 英語会話(上級)3	89生以上 2・3・4	随	2	香取 真理子	英米科学生に限る
9053	英語科教育法 C	3	随	4	松永 隆	
9054	英語科教育法 D	3	随	4	丹下 省吾	

【外国語学部英米科】

講義概要

専門必修科目

2101 アメリカの文化 (必・1年次・4単位・通年) 岩野一郎、他
アメリカの文化

昨年は四年に一回の大統領選挙が行われ、アメリカに関する多くの情報がマスコミを通じて流されたし、われわれの生活の中に気をつかなくうちにアメリカの影響が入り込んでいる。だからといって、われわれはアメリカについての情報を正しく分析し判断することが出来るだろうか。

この講義では、英米科のカリキュラムの一つの柱であるアメリカ研究の序論をなすものであり、日本と最も関係の深い国であるアメリカ合衆国を対象に、ティーム・ティーチング方式によって講じていく。序論に始まり、歴史、政治、外交、経済、文学、言語、宗教の各方面を探っていく。二冊の参考文献は学年が進んでも座右に備えて参照されるべき性格のものである。なお、最後の三回は英語による講義が予定されている。

参考文献：中屋健一編『アメリカ入門十二講』

斉藤真・嘉治編『アメリカ学入門』（増補改訂版）

2121 英語Ⅱ（作文）（必・1年次・4単位・通年） 橋本 恵
～2126 堀部 充
近藤 祐一
松永 隆
佐々木 剛志
有元 将剛

週二回（火曜と木曜）の授業で、火曜日のクラスでは、これまで学習してきた英語の文法を使い、正しい英語が書けるよう訓練する。木曜日のクラスでは、与えられたトピックについて、種々の主題展開法を駆使し、論理的なパラグラフを基にした英文エッセーや論文が書けるような作文力の養成を目指す。

2221 英語 II (会話) (必・2年次・6単位・通年)
 ~2228

J. Nord
 B. Wagner
 C. B. Wordell
 T. Bauerle

This course builds on skills introduced in English Conversation I. It is designed to help students develop their ability to understand and use spoken English. Students attend the course three times a week. Each meeting is divided into two 45-minute portions: Speech and Listening.

During the Speech portion of the class, students discuss assigned readings, present reports, lead discussions, and take part in guided or free conversations. During the Listening portion, students listen and do exercises in the language laboratory. They will hear a wide variety of stories, conversations, dramas, and long texts, in both American and British English. They will also view videos. Because these skills require practice, regular attendance is strictly required.

2231 英語 II (訳読) (必・2年次・2単位・通年)
 ~2234

宮川 佳三
 佐々木 剛志
 田中 幸子
 光田 満喜子

訳読は単に英文を日本語に直すことではない。日本語に訳したけれど全体として何を言っているのか分からないようでは英文を訳したことにはならない。直読直解が最終目標であるが、そのためには先ず土台となる単語熟語の知識をつけ、又パラグラフのトピックセンテンスを見つけて筆者が何を言おうとしているかを知るよう留意する必要がある。辞書はできるだけ英々辞典を使用して英語に対する勘を養うことが望ましい。教室でのテキストの他に、年間4冊宿題として課し、テストを行なう。

2201 基礎演習 A (必・2年次・4単位・通年)
 ~2204

堀 部 充
 佐々木 剛志
 西 脇 博
 近 藤 祐一

A群の基礎演習は、ことばとは何かを、その諸相の考察を通じて考究し、ことばに関する基礎的な概念を修得することを目的とする。

2206	基礎演習 B (必・2年次・4単位・通年)	明石陽至
~2210		岩野一郎
		岩島久夫
		金井光太朗
		宮川佳三

B群の基礎演習は、3・4年次においてアメリカ研究ないしは国際関係に関する研究に取り組むための基礎として、まずアメリカに関する知識を学ぶ。と同時に、地域研究や国際関係研究に関する研究方法や分析手法の基礎的知識も学びとる。担当者は複数であり、専門も異なるが、以下のテキストは共通である。共通テキストの他に、担当者の判断によりそれぞれの特徴を生かした授業を展開していく。

テキスト : David Chalmers and Makoto Saito, *A Brief History of the American People : 1687~1986* (Tokyo : Nan'un-do, 1987)

2321	英語 III (作文) (必・3年次・2単位・通年)	B. Wagner
~2326		M. Wright
		J. Vincenti
		T. Bauerle
		G. Yardley
		C. B. Wordell

The main goal of English III is to enable students to develop a level of proficiency in reading and writing both formal (i.e. academic) and informal English. The writing component of English III will introduce students to the basic mechanics required for essay writing in a variety of expository styles. By the end of the course students will know how to write a research paper. The course is also intended as a revision and strengthening of writing skills and the language forms common to major types of writing. Both intensive and extensive writing assignments will be required, and all students will be required to submit a research paper. In the second semester, all assignments must be typed.

- 2351 英語Ⅲ（講読）（必・3年次・2単位・通年）
～2356
- B. Wagner
M. Wright
J. Vincenti
T. Bauerle
G. Yardley
C. B. Wordell

A wide variety of native-level texts will be introduced in the reading component, as will various reading skills including skimming, scanning, and inferring. Students will also be acquainted with other reading strategies which are intended to improve reading comprehension and evaluation. Vocabulary acquisition skills will also be enhanced, and by the end of the course the student should be able to successfully read a wide range of native-level texts with reduced dependence on a dictionary, and an improved rate and level of comprehension.

- 2301 演習Ⅰ（必・3年次・4単位・通年） 有元 將剛
〔現代英語の構造〕

慣れ親しんでいる英語がどのような体系を持っているか研究する。中学以来習ってきた学校文法とは別の角度から英語を見直すことにより、英語に対する深い洞察が得られるのではないか。英語を深い原理に基づいた体系立ったものと捉えることにより、体系的に英語を理解できるのではないか。ひいては将来英語を教える際に役に立つであろう。

理論的枠組みは最近の生成文法を用いる。又、生成文法は何を目指す理論なのかということも概観する。

- 2302 演習Ⅰ（必・3年次・4単位・通年） 橋本 恵
〔二十世紀イギリス小説〕

今世紀イギリス小説の代表的な作品を、その時代思潮に位置づけて読む。と同時に、英米の最新の文学批評を研究し、作品解釈の実践に役立てられるように指導する。

今年度はテキストとしてヴァージニア・ウルフ（1882-1941）の *Mrs Dalloway* (1925) と *To the Lighthouse* (1927) を読む。

2303 演習 I (必・3年次・4単位・通年)

堀部 充

[二十世紀アメリカ小説]

目標

二十世紀のアメリカの小説を、時代背景を考えながらできる限り多くよみ、アメリカの文化、社会、アメリカ人の生活等について考えたい。このゼミの一つのテーマとして“FAMILY”を取り上げる。家族の中の人間関係(父子、母子、夫婦等)が文学作品のなかでどのように描かれているかを考え、現実のアメリカの社会問題を考える手掛かりにしたい。

作家・作品

アンダーソン、ヘミングウェイ、フォークナー等の超一流作家だけではなく、現在活躍している女流作家の作品も取り上げたい。

2304 演習 I (必・3年次・4単位・通年)

松永 隆

このゼミでは、応用言語学の1つの大きな分野である第2言語習慣をテーマとする。外国語・第2言語習得のプロセスはどのようなものであるか? 母語の習得との違いはどこにあるのか? 習得に影響を及ぼす要因には何があるのか? Successful learners と Unsuccessful learners にはどのような違いがあるのか? (学習方法、学習開始時期、学習スタイル、学習環境など) この様な疑問を、特に英語の習得に関連する研究を中心に勉強しながら、いっしょに考えていこうと思う。

習得プロセスや習得状況の違いについて、心理言語学、社会言語学、神経言語学の3領域から提案されている理論の特徴と制約を比較、検討と、語学教育に対してどのような具体的提案ができるかを考えたい。特に強調したいのは、TOEFLなどのテストの結果にみられる表面的な習得結果ではなく、そこに至るまでに経ている学習・習得の過程(process)である。3年次の後半から4年次には、学習ストラテジー(効果的なリスニング・リーディングのストラテジーなど)とコミュニケーションストラテジーというテーマに焦点を当て、第2言語習得プロセスの理解を深めていくつもりである。

2305 演習 I (必・3年次・4単位・通年)

T. Murphey

[Nero-Linguistic Programming (NLP)]

This is a practical seminar for curious people about how your brain works. It is about how you use language (and other means of communication) to program your nervous system (mainly your brain) to produce your behavior. NLP is the study of the structure of subjective experience (your personal map of the world), in other words, how you make sense out of the input you receive through your senses. NLP is a psychological approach which allows you to program your own brain, to model

excellence, and to increase your choices. It also teaches you how to help others do the same. Through NLP you will explore a lot of alternative learning forms (ALF), different ways to learn, and apply these to your own language learning. You will examine your beliefs, strategies and states and how they effect you and each other.

You will read two related books and many articles each semester, write papers and conduct experiments outside of class. In class, the teacher will lecture approximately 20% of the time and you will actively experiment with the concepts through activities about 80% of the time. You'll have a lot of fun-work.

2306 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 近藤 祐一

[文化とコミュニケーション I]

コミュニケーション行為は、どう「文化」に影響されているのか、そして、異なる文化背景を持った人々がコミュニケーションを行った場合、どういった現象が起きるのか。「異文化コミュニケーション」と一般に呼び習わされているこのジャンルをコミュニケーション論を基本にして見直すことがおもしろい目的である。演習 I では、特に日米のコミュニケーションパターンを考察していく。同時に、「社会科学」的方法での調査法も学習する。

今年度開講される、「コミュニケーション論」、「コミュニケーション特殊講義」を同時に履修すること。

テキスト：コンドン 異文化間コミュニケーション

Samover & Porter *Intercultural communication : A reader*
(6th ed.) 及びプリント

2307 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 岡部 朗一

[異文化レトリックの構図 I]

英語コミュニケーションにおいて特に重要な概念であるレトリック（説得）の問題に焦点をあてて、アメリカのスピーチ、テレビ、新聞、雑誌等で使われる宣伝広告、テレビニュース、新聞の社説、論説、政治漫画、選挙コマーシャル等に見られる説得レトリックの構図を、送り手、受け手、メッセージ戦略といった側面から解明する。クラスでは英語の活字メディアのみならず、ビデオ・映像メディアをも広く導入して研究する。このゼミの学生は、今年度開講の「コミュニケーション論」「コミュニケーション特殊講義」を同時に履修すること。

テキスト：Gary C. Woodward and Robert E. Denton, Jr., *Persuasion and Influence in American Life*, Waveland Press, 1992.

岡部朗一『政治コミュニケーション——アメリカの説得構造を探る』（有斐閣、1992）

2308 演習 I （必・3年次・4単位・通年） 岩島久夫
[情報と外交・国防政策決定過程]

国際政治は予測できないとよくいわれる。それは、その時点で十分な正しい情報が与えられていないからである。殊に「脱冷戦」時代は、「組織化された無秩序」の世界といわれるくらいに、従来常識とされた尺度が通用せず混沌として見通しがつき難く、今まで以上の多層的・多面的な情報の取得と精緻な分析力が求められる。同時に、危機時における指導者の意思決定と民衆の反応行動の特性を把握しておくことも重要である。

こういうことを頭において、揺れ動く現代国際政治の基本的理解とアプローチの仕方の学習に資するよう努力する。

2309 演習 I （必・3年次・4単位・通年） 金井光太郎
[合衆国の創造]

英領北米植民地は13であったわけでもないし、また連邦的な統治組織があったのでもない。独立は13共和国の独立であり、今日の「アメリカ」が独立したのではなかった。大陸会議、連合政府、合衆国の形成が時間的にひき続いておこったとしても、それが順調に、あるいは当然に発展したのではない。その推移の背景にどのような飛躍があったのか、検討する。

2310 演習 I （必・3年次・4単位・通年） 西村貞雄
[米国の国際経済問題]

前期にまずアメリカ経済に付いての全体的な展望をテキストに基づいて行い基礎的知識を身に付けた後、後期にかけてアメリカ経済の諸問題、特に国際経済的側面の諸問題を取り上げて分析してゆく。取り上げる問題としては、貿易・通商政策・国際収支とドル・自由貿易と保護貿易など、更にそれらの問題に不可分に関連している生産性の停滞・財政赤字等の問題も議論することになる。

しかしこれらのうちどの問題を選択するかは学生の選択に任せたい。すなわち、全体の展望を行った後、後期には各人取り組むべき問題を選ばせ、その問題に関して何度か報告を求める。年度末にはその問題に関してレポートの提出を求める。

前期の展望のためのテキストとしては

P. クルッグマン、『90年代、アメリカ経済はどう変わるか』（TBSブリタニカ、1990）

John J. Accordino, *The United States in the Global Economy*, ALA, 1992.
からの諸章を考えている。

なお、ゼミの受講生は、ゼミを補完する授業として「アメリカの経済」と「国際経済学特殊講義」を履修することが必要である。

2311 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 明石陽至
[東アジア・東南アジア国際政治とアメリカ]

本演習は20世紀初期における東アジア(中国を中心として)東南アジアをめぐる国際政治にアメリカ外交が如何に反応し、同地域の問題に関与したかを考察する。具体的には次の事項について考察を行う。

1. 東アジアと大国として台頭したアメリカ—中国を中心として。
2. 日米関係—移民問題を中心として。
3. 1920年代の中国を中心とした日米関係。
4. 1930年代の中国を中心とした日米関係。
5. 日独伊三国同盟とアメリカとソ連。
6. 対日占領政策と冷戦・講和条約締結。
7. 第一次ヴェトナム戦争とアメリカ。
8. 第二次ヴェトナム戦争とアメリカ。
9. ヴェトナム戦争後のアメリカの対アジア政策。
10. 冷戦終焉後のアメリカの対日・中国関係。

テキストは邦・英文のプリントを使う予定。

2312 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 宮川佳三
[20世紀のアメリカ外交]

演習 I の主目的は、20世紀のアメリカ外交、特に第二次世界大戦後のアメリカ外交・軍事政策の展開—封じ込め政策の展開—を学ぶことにある。今日、冷戦の時代が終わったといわれているが、その冷戦の時代とはどういう時代であったのかを、封じ込め政策の立案・遂行の当事国であるアメリカの外交・軍事政策を学ぶことで、知ることにはしたい。演習 I では、特にアメリカ外交の発展・展開を建国期から現代までのアメリカの対外関係の発展—アメリカ帝国の盛衰の道程—を整理する。演習 II で予定している「20世紀の日米関係と国際システム」のための準備課程にしたい。本ゼミ生には『アメリカの外交』(宮川担当)の並行履修を求めたい。

テキスト：

- ① 有賀貞・宮里政玄編『概説アメリカ外交史』(東京、1991)
- ② John M. Carroll and George C. Merring, *Modern American Diplomacy*, Willmington, Delaware, 1986.
- ③ George F. Kennan, *American Diplomacy*, Chicago, 1968.

2313 演習 I (必・3年次・4単位・通年) H. Wray

[The American Occupation of Japan : 1945-1952]

The purpose of this seminar is to understand the significance of the American occupation of Japan after the Second World War. From the end of the War until 1952, Japan underwent unprecedented foreign occupation by Allied Government. The Supreme Commander for Allied Personnel, General MacArthur, attempted to demilitarize and democratize Japan.

In this seminar, students are expected to understand the nature and importance of contemporary psychology during this period, the success and failure of occupation policies and the significance of occupation within the context of Japanese history.

2421 英語 IV (必・4年次・4単位・通年)
~2425

L. Hanzel
E. Skrzypczak
J. Lenihan
G. Yardley
H. Wray

Students will be asked to consider a number of current issues relating to society. Past topics for discussion have featured topics dealing with aspects of education, politics, the media, women and work, and love and marriage. Students will be expected to prepare for the discussions by background reading and by preparing materials for the class, which may be reinforced by a variety of other texts and audio-visual materials. A number of essays related to these topics will be set each semester in which students will be invited to give informed and well-presented opinions on some of the topics. All essays submitted must be typed.

2401 演習 II (必・4年次・4単位・通年) 有元 将剛

[言語理論と英語の統語構造]

Principle and Parameter あるいは Economy の理論を基に英語の統語構造を明らかにする。テキストの他に *Linguistic Inquiry*、*Language* 等に掲載された数多くの論文を読む。リサーチペーパーは新しい言語事実の発見、新しい視点による一般化の発見に主目標をおく。

2402 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 西脇 博

[現代英語の史的理解Ⅱ]

演習Ⅰを基礎に、音韻、文法、造語法等にわたって現代英語の史的理解をさらに深める。即ち、音韻変化を手がかりとして借用語も含む現代英語語彙にみられる同根語を系統的にしらべ、さらに数・格・法・語順等文法的諸範疇における不規則性、特殊用法などの由来を理解し、また意味の変化の一般的な過程も概観する。

参考文献：Hugh E. Wilkinson, *The How and Why of English* (研究社)、
中島文雄、『英語発達史』(岩波書店)

2403 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 橋本 恵

[二十世紀イギリス小説]

今世紀イギリス小説の代表的作品を小説解釈の方法論を重視して読解する。前期には、リサーチ・ペーパーの研究対象作品、研究題目を決定する。後期にはその研究題目にしたがって個別的指導をし、ゼミでは各自による中間発表及び討論をする。

2404 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) C. B. Wordell

[Criticism and the American Novel]

This second year seminar will combine readings in criticism with major 20th century American novels. Texts will include A handbook of Critical Approaches to Literature and short novels or excerpts from novels by Ernest Hemingway, F. Scott Fitzgerald, John Steinbeck, Saul Bellow, Norman Mailer, James Baldwin, Ralph Ellison, and Flannery O'Connor. A graduation essay of at least 2,500 words is another requirement of the course. (Students should also take course 2541, American Fiction.)

2405 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 佐々木 剛 志

[英語と英語教育]

ここでも「英語」に依然として重点が置かれることは言うまでもないが、少しずつ「教育」に視点を移していく。

「教育」の際に考えに浮かぶものに、だれが何をどこでだれに、いつ、どの様に、なぜ教えるのかということである。このうち「何」は広く言えば「英語」なのだが、これとて「どんな」英語かを教えなければいけない。

ここでは「だれが」についてだけ述べるが、日本において英語教育が始まってから、特に現在の中学の段階に英語が教科の一つとして採用される様になってからの平均的英語教師像について考えてみると、極めて保守的というか、伝統的、因習的である。このタイプの教師でない教師というのはどんな教師であるかを考える必要

があると思う。

他の項目については共に学んでいく中で考えていきたい。

2406 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 近藤 祐一

[文化とコミュニケーションⅡ]

今年度は、演習Ⅰで学んだ比較文化的視点を基に、文化と文化が実際に衝突した場合にどうなるのかということを考えていく。つまり、一般に異文化適応、カルチャーショックと呼ばれる、行動的、心理的現象を文献や、実験を通して考察する。今年度開講される、「コミュニケーション特殊講義」を同時に履修すること。

テキスト：Samovar & Porter, *Intercultural Communication: A Reader* (6th ed.) 及びプリント。

2407 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 岡部 朗一

[異文化レトリックの構図Ⅱ]

英語コミュニケーションにおいて特に重要な概念であるレトリック(説得)の問題に焦点をあてて特にアメリカの社会運動の説得レトリック構造を検討する。後期からリサーチ・ペーパーの指導もおこなう。このゼミの学生は、本年度開講の「コミュニケーション特殊講義」を同時に履修すること。

テキスト(予定)：Charles J. Stewart, Craig Allen Smith, and Robert E. Denton, *Persuasion and Social Movement*, 2nd ed. Waveland Press, 1989.

2408 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 明石 陽至

演習Ⅰにおいて勉強した東南アジアの基礎的知識をベースにして、東南アジアの中のイスラム国家であるマレーシアとインドネシア事情について勉強する。前期で講義討論を終え、後期は各自研究発表を行う。

リサーチペーパーは研究発表したテーマを取りあげて「Nanzan Guidebook of Research Paper」を参考にして、英文で一月末日までに提出する。尚、リサーチペーパーのドラフトは11月初旬までに提出する。

2409 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 岩野 一郎

[アメリカの現代社会と政治]

昨年に引き続き、第二次世界大戦後のアメリカ政治の復習をしながら、1980年代のアメリカ政治と社会問題の検証を行う。とりわけ、昨年の選挙で政権は民主党に引き継がれ、また、年齢も若返ることとなったが、レーガン・ブッシュ時代とどのように今後の政治が「変化」するのかを知る手がかりを考究していく。

演習Ⅱではリサーチ・ペーパーが要求されているので、ペーパーの書き方について

での指導も早くから始める予定である。

テキスト : David Marvin, *Ronald Reagan and the American Presidency*.
(London : Longman, 1990), Berman ed., *Looking Back on the
Reagan Presidency*, (Baltimore : Johns Hopkins Press, 1990)

2410 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 岩島久夫

[日米関係と太平洋・アジアの展望]

「ニュー・ワールドオーダー」(新世界秩序)を目指して世界は動いているように見えるが、その「形」は今だに見えてこない。かつての2超大国はその支配力を失ない、といって確たる新しい指導国も認識できず、「G7」とはいうもののその足並は必ずしも合っているとは思われない。CSCE(全欧安全協力会議)体制の安定性も完全なものではない。ヨーロッパより結束の悪いアジア・太平洋域の将来は、米国に新民主党政権が登場して、果していかなる方向へ導かれるのであろうか? その要となるべき「日米関係」を中心として、その問題の所在を探り、対応策を模索する。

2411 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 金井光太郎

[トックヴィルのアメリカ]

トックヴィルの見たアメリカを再検討し、民主的公共が成り立つには何が必要であったのか、検討する。そこから、今日ゆれているアメリカの問題点の背景を理解できよう。

2412 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 西村貞雄

[米国の通商政策]

演習Ⅰの継続であるが、特にアメリカの通商政策に焦点を当てたい。また前期のうちからリサーチペーパーの準備にとりかかる。問題を設定し、基本的構想を立てるまでを前期に行い、後期はリサーチペーパーの報告・検討に当てる。

2413 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・前期) R. Riemer

[MINORITY GROUPS IN AMERICA]

Minority-dominant relationships in America are discussed. Interaction among ethnic, racial and religious groups will be covered by examining the extent of prejudice and discrimination as well as racism and segregation in American Society. Blacks, Spanish Speaking Groups, Orientals, and other minority groups are considered in so far as they are absorbed into the "Melting Pot" of American Society or they maintain their unique identity within a "Pluralistic American Society." Minorities in other

countries will be considered briefly.

専門選択科目

A 群

2501 言語学方法論 (指・2年次・4単位・通年) 有元 将剛

生成文法の考え方、目標を論じる。統語的を中心とするが意味論、音韻論も扱う。対象言語は英語(および日本語、スペイン語)とする。文の情報構造を明らかにする談話分析、社会と言語の関係を明らかにする社会言語学についても触れる。

2511 英米文学概説(アメリカ文学) (選・2年次・4単位・通年)

堀部 充

アメリカの時代の流れにそって、19世紀以降のそれぞれの時代思潮を代表する作品を読み、アメリカ文学を概観する。原則として毎時間一篇の短篇小説を取り上げ、小テストを行なう。長篇小説は宿題として読む。

2512 英米文学概説(イギリス文学) (選・2年次・4単位・通年)

橋本 恵

イギリス文学を文学史の流れにそって、時代思潮をふまえつつ概観する。多数の作家、作品を網羅的にとり上げるのではなく、各時代を代表する作品に焦点をあて、実際にそれを読むことによってイギリス文学の姿をとらえる。

2520 英語の構造 (選・3・4年次・4単位・通年)

佐々木 剛志

「英語の構造」と言っても、この中から「音声」「音韻」「形態」に関するものを除き、専ら「語」を最小単位として「句」「節」「文」を組み立てていく際の規則、俗に言う「文法」をここでは取り上げていく。

しかし、中学、高校での「文法」は「正しい」文を作るための規則であって、受け取る側からすれば上からの押し付け、もう少しよい言い方をすれば金科玉条であって、何が「正しい」のかについての判断は受け手はできない。

従って「文法」というものは面倒臭い、厄介なものということになる。しかし本当にそうであろうか。

この講義では例文を多く使い、「学校文法」と「理論文法」の間あたりのことを中心にやっていく。また「学校文法」でとかく無視されがちな地域差、特にアメリカ英語とイギリス英語、また話し言葉と書き言葉、改まったスタイル、くだけたスタイルなども取り上げていく。

2522 英語音声学 (選・3・4年次・4単位・通年)

松永 隆

英語音声学の基礎知識を与えるとともに特に日本人が英語を発音する際の困難点

を指摘し訓練のヒントを示す。発声器官の働き、英語音の分類と記述、音連続の発音、アクセント、イントネーション等を詳述する。主として調音音声学に重きを置くが、音響音声学の基礎にも触れる。さらに音韻論の基礎的な諸概念も概観する。音声教材を使用して実用的訓練にも留意する。

- 2525 英語史 (選・3・4年次・4単位・通年) 中尾 祐治
今日国際語として大きな地位を占めている英語も、5世紀半ば以前には現在のイギリス国内には存在していなく、ヨーロッパ大陸におけるゲルマン小部族の言語に過ぎなかった。こうした歴史を、有史前、古英語期(449-1150)、中英語期(1150-1500)、近代英語期(1500-現在)と時代を追って学習する。英語史を学ぶことによって、英語に対する説明力は飛躍的に増大するであろう。
- 2531 英語学特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年) 田中 春美
[日英両語の対照]
対照研究の一般論を概観し、その上で日英両語の対照を音声・形態・統語・語彙(と意味)のそれぞれについて実践してみる。それを参考に、受講者各自にプロジェクトを立ててもらい、具体的調査に基づきレポートを学年末に提出してもらう。必要に応じてプリントを配布するが、テキスト・参考書も後日指定する。(日本語特殊講義(3)と共通)
- 2532 英語学特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年) 足立 公也
本講義では、変形成文法が現在の「原理と媒介変数によるアプローチ」に至った過程をたどる。本年度は理論だけではなく具体的な言語事実にも目を向ける予定であるが、受講者は生成文法の理論的背景に関して十分な知識があることが望ましい。
- 2533 英語学特殊講義(3) (選・3・4年次・4単位・通年) 公平 珠躬
Logical Structure of English & its processing 「英語の論理構造と文書処理」
—英語を可能な限り論理的に分析し、それを英文の文書処理(Word Processing)に利用してみたいと思います。自然言語の意味論に情報処理的味付けをしてみようという試みです。テキスト:「日常言語の論理学」(産業図書:1992年版)。文書処理に関する新論文はプリントで紹介いたします。
- 2534 英語学特殊講義(4) (選・3・4年次・4単位・通年) J. Nord
Course Title : Computers and Language
This course will help students learn how computers can improve their English. Students will learn how computers are used in language teaching,

testing and research. They will learn through illustrated lectures and guided hands on experience. Students will also learn how to use computers in global communications by participating in an electronic information exchange network using English as an international language.

2535 英語学特殊講義(5) (選・3・4年次・4単位・通年) T. Murphey

[Japanese/English Interaction and Language Acquisition]

This workshop-course will explore the following : What are language acquisition processes, learning situations which help or impede language acquisition, activities which lead to quality interaction and an acquisition rich environment? The class itself will be very interactive and experiential. This is a research course and students need to be enthusiastic and inquisitive. Homework, including reading, observation, and experimentation will take about 90 minutes a week. Grades will be based equally upon active participation, research papers, and semester final essay exams. This course is open to visiting foreign students and we hope to have a good number in the class September through December in order to experiment with their Japanese acquisition as well as your English acquisition in interaction.

2536 英語学特殊講義(6) (選・3・4年次・4単位・通年) 松永 隆

このクラスは外国語科目の教職を履修している学生を対象にした、language testing (外国語の評価法) の授業である。外国語科目の新学習指導要領に対応していくためには、どのような評価の仕方が望まれるのかを一緒に考えていく。特に、リスニング・リーディングのスキル(語いや文法のテキストを含む)を中心にして、学習者の到達度や教育・指導効果を評価するためのテスト作成法を実際に体験しながら学んでいく。具体的なテスト作成は英語で行うが、その他の外国語科目についてもかなり参考になると思う。なお、後期の一部では成績管理など教育評価に必要な基礎的な統計処理についても実習(パソコン室を使用)を行う予定である。

2541 英米文学特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年) C. B. Wordell

[American Fiction from 1950 to 1970]

This course will deal with novellas and longer stories by major American writers during the years 1950 to 1970. Materials will include works by Saul Bellow, Bernard Malamud, John Barth, John Updike, Joyce Updike, Joyce Carol Oates, and Ralph Ellison. The works will have

notes in Japanese. Each week students will read 20 to 40 pages of the writing of a single author and complete a brief outline form dealing with what they have read. Students will keep journals of their readings, and must take two open-book exams.

2542 英米文学特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年) 磯野守彦
[英米演劇研究「〈家〉を出る女たち」]

英米演劇に描かれたさまざまな〈家出〉女たちを見ながら、女性の成長について考える。扱う作品は、*OTHELLO, A DOLL'S HOUSE, PYGMALION, LOOK BACK IN ANGER, THE GLASS MENAGERIE* など。

(T) *PYGMALION* (英潮社)

LOOK BACK IN ANGER (開文社)

そのほかはプリント使用。

2543 英米文学特殊講義(3) (選・3・4年次・4単位・通年) 鈴木俊次

20世紀の前半、1910～1930年代はイギリス文にとって優れた作家を多く輩出した時代であった。その中の一人 D. H. Lawrence をとりあげ、その短編小説を前期から後期と読んでいくことで、この作家の芸術的深化、思想の展開を辿る。Lawrence は労働者階級の出身作家であり、初期の作品で炭坑労働者の家庭を描いた名作、‘Odour of Chrysanthemums’ からスタートし、中期の傑作 ‘England, My England’、後期の ‘The Man Who Loved Islands’ まで、6、7編とりあげる予定。

テキスト：D. H. Lawrence, *Selected Short Stories*, Penguin Books.

2560 記号論理学 (選・2・3・4年次・4単位・通年) 服部裕幸
文学部1079 「哲学演習IX」参照

2561 歴史・比較言語学 (選・3・4年次・4単位・通年) 西脇博

比較言語学とは単に異った言語を比べるということではない。幾つかの言語の異同を試べて系統的な親近関係を明らかにする学問であり、これには言語の歴史を遡ることが基礎として重要である。また比較には厳密に規定された手続きが用いられるが、この講義では英語の系統的位置を中心とし、語族、祖語の推定、これによる語源研究、音韻法則、言語接触、文化社会的要因などの基礎概念を解説する。

プリント使用。

2564 言語の哲学 (選・3・4年次・4単位・通年) 服部裕幸
文学部1062 「哲学特殊講義II」参照

2565 コミュニケーション論 (選・3・4年次・4単位・通年) 岡部 朗 一

最初の2・3回の講義でコミュニケーションの基礎概念を論じ、その後は個人内 (intrapersonal)、対人 (interpersonal)、小集団 (small group)、公的 (レトリック的) (public)、マス (mass)、異文化 (intercultural) という各々のコミュニケーション・レベルに従って、具体的に英語に焦点をあててその基礎理論を主に講義の形で検討する。また非言語 (nonverbal) コミュニケーションについても扱う。コミュニケーション関係の「演習Ⅰ」を履修する学生はこの科目を履修すること。

テキスト: *Basic Readings in Communication Theory*, 4th ed.

『異文化コミュニケーション』(東京:有斐閣)、『異文化を読む——日米間のコミュニケーション』(東京:南雲堂)

2567 コミュニケーション特殊講義 (選・3・4年次・4単位・通年)

近藤 祐一

[非言語コミュニケーション]

コミュニケーションの場において重要な意味を持つ非言語コミュニケーションを、身体の動き (Kinesics)、空間の利用 (Proxemics) などの側面から考察していく。授業は、講義だけでなく、多分に経験学習の要素を含む。実習、グループによる観察レポート等により、これまでになされたこの分野を概観すると共に初歩的な観察、実験法を学ぶ。全般を通して、比較文化的な視点を持ち、主に日米コミュニケーションの比較を行なう。後期は留学生別科との合同授業の形態をとる。コミュニケーション関係の「演習Ⅰ」と「演習Ⅱ」の学生は履修すること。

テキスト: プリント使用

2571 外国語としての英語教授法 (選・3・4年次・4単位・通年)

L. Hanzel

This is a course for those interested in becoming a language teacher, especially an English teacher. The lectures will focus on the theoretical background a teacher should have, as well as on practical teaching techniques and learning problems of students.

2581 マスメディアの英語 (選・3・4年次・4単位・通年) L. Hanzel

This is a course for students seriously interested in developing their listening comprehension ability of *formal* English. We will, therefore, work to expand the individual's listening comprehension ability, as well as his knowledge of formal words and expressions. To attain these goals, we will make regular use of various audio-visual materials. There will

be both intensive and extensive practice on a variety of current topics.

2585 英語通訳法 (選・3・4年次・4単位・通年) 近藤 祐一

逐次通訳の基礎的な理論と実践訓練に重点をおき、かつ同時通訳の基礎訓練も導入する。単語力、表現力、時事問題に関する知識を高め、英語および日本語の総合的な運用能力を開発することを目的とする。視聴覚特別教室を使って、演習を中心として、政治、外交、経済といったいくつかのテーマ別のテキストを導入し、繰り返し学習する。毎週おこなわれる小テストの成績を特に重視する。

テキスト: *Let's Communicate* (一橋書房)、E・G・サイデンステッカー、松本道弘共編『最新日米口語辞典』(朝日出版社) その他英字新聞。

2587 英語翻訳法 (選・3・4年次・4単位・通年) E. Skrzypczak

Short stories written by recognized Japanese authors for young readers will be translated by the students into English. Class periods will be used to review translations, looking for patterns and rules-of-thumb, with a view to acquiring a systematic approach to translating and a set of habitual skills.

2588 英語スピーチ (選・3・4年次・4単位・通年) 岡部 朗一

英語スピーチの構想法、構成法、修辞法を、原書の講読と実習練習をして学ぶ。このクラスでは delivery よりはむしろスピーチの想のおこし方、outline の作り方、適切な話体での表現の仕方といった面により強調をおき、rhetorical thinking に立脚した Speech composition 法の実践を通して、英語での論理的な口頭表現法を習得する。年間5回の実践課題が与えられる。

テキスト: Tim Fisher and Tracey L. Smith, *Icebreaker: A Manual for Public Speaking*, 2nd ed. (Waveland Press, 1990) その他プリント。

2591 商業英語 (選・3・4年次・4単位・通年) M. Wright

Business depends on information. The ability to communicate fluently is an essential skill for anyone entering the business world.

Business English courses generally focus on written communication but in this course we will work with all four skills. The course adopts a workshop approach so active participation is required of all. Homework requiring two to three hours will be assigned each class. Places are limited so only those who intend to complete the entire year should register.

2598 Intensive Comprehension & Speed Reading

(選・3・4年次・4単位・通年)

宮川佳三

英語で書かれたものの理解と読む速度の増大を目的としたクラスです。この目的を達成するため、まず単語・成句・構造の認識・理解の瞬時性を高め、表現上の予測・活用能力を向上させるための訓練をします。又英文の展開法についての理解を深め、論旨の把握の仕方を修得させたいと思います。速読の訓練のためですから、易しい読み物の方が良いと思われませんが、大学生としての知的レベルに合った内容の読み物——特に Newsweek、Time、New York Times、Washington Post 等の雑誌・新聞の日米関係、国際政治、国際経済の論説・記事——を教材として使用します。

テキスト：印刷物

B 群

2601 アメリカ史 (指・2年次・4単位・通年)

金井光太郎

現在の常識である人民主権国家をめぐる流れとしてアメリカ史を理解してみたい。植民地時代の安定、平和を基礎とする社会が変化に迫られて、新しい体制を創り出すに至った。その新しい連邦の下で社会の発展を大きな価値として人々の生活、意識、制度が変化を遂げる一方、南北の対立をひきおこしてゆく。その後の急速な発展、産業化によって、合衆国の社会、国家は新たな再編成を余儀なくされた。

2602 イギリス・英連邦史 (選・2・3・4年次・4単位・通年)

奥田伸子

[M. サッチャーと1980年代のイギリス]

評価は正反対に分れるものの、サッチャーがイギリス現代史のなかで重要な意味をもつ政治家であることは否定できない。講義ではサッチャリズムと呼ばれた彼女の政策を分析し、サッチャーがイギリスに与えた影響を検討する。前期は主として政治的な側面、後期は経済的・社会的側面に焦点をあてる予定である。開講時までには、森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス——その政治、経済、教育——』(岩波新書)を読んでおくこと。その他の文献については開講時および講義中に指示する。

2604 経済原論 (選・2年次・4単位・通年)

西村貞雄

現代の経済問題を論じる上で必要な経済学の基礎知識を修得することを目的とする。ミクロ経済学(価格理論)とマクロ経済学(所得理論)を扱う。数式よりも図によって説明し、特に経済学的な考え方がどのようなものであるかを説明することに重点を置きたい。テキストは追って指示する。

2606 英米の思想 (選・3・4年次・4単位・通年) 松 岡 泰
[アメリカの現代思想を中心に]

現代アメリカの思想状況を理解するために必要と思われる幾つかのテーマ、例えば人種問題、宗教と科学(キリスト教と進化論)の問題、現代の保守主義、環境問題等を取りあげる予定である。テキストはその都度指定する。

2610 英米の社会 (選・3・4年次・4単位・通年) 岩 野 一 郎
[人種・移民・エスニシティ—多民族社会アメリカを探る]

1992年4月に起こったロサンゼルス暴動は、アメリカ社会における人種関係が如何に難しいかを再び私たちに教えてくれた。アメリカのモットーの一つに「多様の中の統一」(e pluribus unum) というのがある。まさしく、多様な人種・民族・エスニシティを抱え込むアメリカが、如何にして統一ないしは統合を保っていくかということは、建国期からの課題であった。

この講義では、多民族社会アメリカの問題を、移民の歴史、統合意識の変化、assimilationの問題、市民権獲得と政治参加、多文化主義などの問題を広く取り扱いたい。「アメリカ史」の知識のあることが望ましい。

参考書：綾部恒雄編『アメリカの民族』(弘文堂、1992)

本間長世『多民族社会アメリカのゆくえ』(岩波書店、岩波ブックレット、1992)

本間長世編『アメリカ世界Ⅱ』(有斐閣、1980)

A. シュレジンガー『アメリカの分裂』(岩波書店、1992)

その他適宜講義中にプリントを配布する。

2613 社会学概論 (選・2・3・4年次・4単位・前期+集中) R. Riemer
藤 本 哲 史

[INTRODUCTION TO SOCIOLOGY]

This course is an introduction to the study of society. A systematic presentation is given of the basic aspects of society including culture and subculture, socialization, social class, and collective behavior. An analysis of three major social institutions in American society (family, education, and religion) is also given.

The pace and demands of the course are not beyond the capacity of the students who are willing to listen to the lectures, read the textbook, take notes in class, and participate in class discussion. All the classes will be given in the first semester.

2621 アメリカの宗教 (選・3・4年次・4単位・通年) 梶原 寿
[マーティン・ルーサー・キングの宗教思想]

1950年代半ばから1960年代を通じて公民権運動を指導したマーティン・ルーサー・キングの宗教思想は、アメリカ建国の理念と統合精神の深化に大きく貢献した。本講義はM. L. キングの生涯と思想を学ぶことを通してアメリカ統合の精神に接近することを企図している。本年度は特にキングの代表的スピーチを原文で紹介することに重点を置いていきたい。

テキスト：梶原寿著『マーティン=L=キング』(清水書院)

2622 アメリカの文学 (選・3・4年次・4単位・通年) 堀部 充

アメリカの黒人文学を概観し、アメリカ社会で黒人の置かれた状況が黒人文学にどのように反映されているかを考えてみたい。ライト、エリソン、ボールドウィンを中心に、時代背景と黒人作家たちのテーマを検討する。授業では作品を読むことと講義を平行させる。テキストは未定。

2631 アメリカの政治(1) (選・3・4年次・4単位・通年) 岩野 一郎

昨年の大統領選挙により、アメリカ国民は政党も年代も異なるリーダーを選択し、「変化」に期待を託した。クリントンの政権がどのような政治を展開していくのかを理解するための基礎として、アメリカの連邦レベルの政治組織を中心に講義を進めていく。また、アメリカ人にとって最も身近な政府である「ローカル・ガヴァメント」についても講ずる予定である。受講生には「アメリカ史」の知識のあることが望ましい。

参考書：福田・野村・岩野編著『アメリカ合衆国』(ミネルヴァ書房、1989)

2632 アメリカの政治(2) (選・3・4年次・4単位・通年) 金井 光太郎
[アメリカ発展期の諸問題法]

アメリカは入植以来基本的な体制は継続して現代にまでそのままつながっているかのようなイメージがある。建国から19世紀前半のアメリカを詳しくみてゆくことで、社会をダイナミックに発展させる過程で人々の生活、意識、制度が大きく変わったことを明らかにしてゆきたい。

2641 アメリカの外交(1) (選・3・4年次・4単位・通年) 宮川 佳三

東西ドイツの統一やソ連邦の崩壊にも見られるように、「冷戦」は終焉を告げ、アメリカ合衆国は世界システムの中で唯一の超大国となった。他方、アメリカの世界における影響力の低下を論じ、アメリカの「衰退」を唱える文献もその数を増している。いずれにせよ、20世紀末に向かって世界システムに根本的な変革が起こっていることは確かである。

独立以来、アメリカはその地政学的位置により、ヨーロッパとの不要なコミットメントを保つこと無く、自国の発展のために勢力を集中させ、世紀転換期には20世紀の世界システムの中での大国の地位を占めるに至った。

本講義は「アメリカの世紀」ともいえる20世紀のアメリカの外交—米西戦争後から第一次大戦、ワシントン体制、日本のアジア進出とその対応、第二次大戦、冷戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争—を概観しかつ分析することを目的としている。

成績評価に際しては、二度の期末試験に加え、10ページ程度のレポートを二回提出させる。テキストは未定。

2642 アメリカの外交(2) (選・3・4年次・4単位・通年) H. Wray

This course covers American diplomacy, primarily with China and Japan, from 1800 to the present through a combination of lecture and student reports. We will examine the background factors that influence the foreign policy of all three countries. Major attention will be devoted to the factors that led to the Pacific War. We will examine the significance that the Allied Occupation of Japan and the Cold War played in shaping all three nations' postwar foreign policy.

2643 アメリカの経済 (選・3・4年次・4単位・通年) 西村 貞雄

20世紀のアメリカのマクロ経済の流れを説明し、特にマクロ経済政策上に現れた様々な問題(自由主義とアクティヴィズム、国際収支問題、インフレーション、レーガノミクス等)をマクロ経済の流れに即して解説する。現在のアメリカの様々な経済問題が、一体どのような観点から問題にされ、またどうして問題とされるのかを理解させるようにしたい。

2646 アメリカの法制 (選・3・4年次・4単位・通年・隔週) 丸山 英二
法学部開講科目 8420「英米法」参照。

2651 アメリカ史特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年) 安武 秀岳

[アンティベラム期の諸問題]

独立革命期から南北戦争前までの時期の政治と社会について論ずる。

2652 アメリカ史特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年) H. Wray

This course will cover American history through focusing on major topics which have continued to be controversial from colonial times to the present. Some of the topics that will be covered are immigration, racial and sexual discrimination ; centralization versus decentralization, capital

versus labor, the meaning and purpose of education, foreign policy controversies, freedom, and individualism.

2676 国際経済学特殊講義 (選・3・4年次・4単位・通年) 西村 貞雄
[国際経済と米国]

アメリカ経済と国際経済のかかわりを論じる。生産性上昇の低下、インフレと失業問題、財政赤字と貿易赤字、国際通貨ドルの問題、自由貿易と保護貿易、日米経済摩擦、等といった問題を取り上げ、問題毎に経済的な論理構造を明らかにしていきたい。

2680 国際政治論 (選・3・4年次・4単位・通年)
法学部 8470「国際政治学」参照。

2682 国際政治論特殊講義 (選・3・4年次・4単位・通年) 岩島 久夫
[ボーダーレスでファジーな世界の展望]

ベルリンの壁が崩壊し、ソ連の解体が世界を驚かし、米国にも新政権が登場し、「ボーダーレスでファジーな世界」はますます思わぬ方向に進む可能性を秘めている。「統合」と「分裂」の二律背反的歩みが続けつつある国際社会は、かつての「バランス・オブ・パワー」を基本とした単眼的把握では正しく理解することはできない。「価値逆転」的な発想の転換すらそこでは強いられており、常に複眼的視野の中に映し出す努力を怠ってはならない。

こうした意識の下に、「見える」世界の裏に流れる「見えない」力にも心を配りつつ、大げさな言い方だが国際政治の実相を描き出してみたい。

2684 国際企業論 (選・3・4年次・4単位・前期) A. Iaquinto
経営学部 6251「多国籍企業論」参照

2686 外交史 I (選・3・4年次・4単位・通年) 明石 陽至
明治維新以来の日本の外交問題をテーマ毎にとり挙げ、日本が前近代国家からアジアの列強そして世界の列強の一員となって行く外交展開過程を考察する。時代的には幕末開国から太平洋戦争までをカバーする。

2687 外交史 II (選・3・4年次・4単位・通年) 佐々木 雄太
[二つの世界大戦とイギリス外交]

第一次、第二次両世界大戦の開戦ならびに戦後処理のプロセスを、イギリス外交を中心に講義する。もって、その時代の国際政治の特質や二つの大戦の性格あるいはそれぞれの戦後世界へのその影響を考える。

<テキスト>

佐々木雄太著『三〇年代イギリス外交戦略』（名古屋大学出版会）

<参考書>

齊藤 孝著『戦間期国際政治史』（岩波書店）

その他、適宜推薦する。

5521 国際経済学（選・3・4年次・4単位・通年） 山田 正 次
経済学部5521「国際経済学」参照。

5523 開発経済学（選・3・4年次・4単位・通年） 林 尚 志
経済学部5523「開発経済学」参照。

自 由 科 目

1801 文学論（自・3・4年次・4単位・通年） 丸岡 高 弘
文学部1801「文学論」参照。

5542 財政学（自・3・4年次・4単位・通年） 末 重 正 行
経済学部5542「財政学」参照。

5543 金融論（自・3・4年次・4単位・通年） 荒 井 好 和
経済学部5543「金融論」参照。

5811 会計原理（自・3・4年次・4単位・通年） 白 木 俊 彦
5812 経済学部5811、5812「会計原理」参照。

5835 民法 I（自・3・4年次・4単位・通年） 柳 澤 秀 吉
経済学部5835「民法 I」参照。

5851 商法 I（自・3・4年次・4単位・通年） 篠 田 四 郎
経済学部5851「商法 I」参照。

5871 行政法（自・3・4年次・4単位・通年） 市 橋 克 哉
経済学部5871「行政法」参照。

6104 経営学総論 (自・3・4年次・4単位・前期+夏期集中) 岸田 民樹
経営学部6104「経営学総論」参照。

6136 マーケティング論 (自・3・4年次・4単位・隔週) 中田 善啓
経営学部6136「マーケティング論」参照。

6305 情報処理概論 (自・3・4年次・4単位・通年) 山田 進
6309 経営学部6305~6309「情報処理概論」参照。 村本 正生
(集中) 井垣 伸子

8001 憲法Ⅰ (自・3・4年次・4単位・通年) 小林 武
法学部8001「憲法Ⅰ」参照。

8120 国際法Ⅰ (自・3・4年次・4単位・通年) 岡田 泉
法学部8120「国際法Ⅰ」参照。

8390 国際私法 (自・3・4年次・4単位・集中) 青木 清
法学部8390「国際私法」参照。

随意科目

2901 英語Ⅱ訳読 (随・89生以上・2単位・通年) 香取 真理子

Randal Collins の *Sociological Insight* を読む。一般的には、人は理性を持っているから動物と区別されると考えられています。しかし、人間が本当に合理的だったら社会など作らなかつたそうです。では、社会を構成しているものは何でしょうか。この本は、理性、神、権力、犯罪、愛について、社会学の視点から理解を深めてゆきます。新しい物の見方を与える一冊です。

2911 英語Ⅱ作文 (随・89生以上・2単位・通年) 丹下 省吾

2931 英語作文(上級) (随・2・3・4年次・2単位・通年)

部分に注意しながら全体を構成して行く writing を練習する。

テキスト : S. Kathleen and Kenji Kitao, *Writing English Paragraphs*
(英潮社)

2921・2922 英語Ⅱ会話(1)、(2) (随・89生以上・2単位・通年) D. Dycus

2941・2942 英語会話(上級) 1、2 (随・2・3・4年次・2単位・通年)

This course will concentrate on developing students' speaking and listening ability through the use of communicative activities. An important focus will be on vocabulary, especially words, phrases, and structures used to describe important thought, feelings, and events and experiences. Some classes will include discussion and/or problem solving activities. Students will be expected to work together in pairs or small groups.

2923 英語Ⅱ会話(3) (随・89生以上・2単位・通年) 香取 真理子
2943 英語会話(上級) 3 (随・2・3・4年次・2単位・通年)

前期は、英語の音を正確に発音する練習を行ない日本語にない音や日本語に似ているけれども少し違う音を聞き分け、出し分けることを目標とし、後期は、イントネーションを中心に練習を行ない、より英語らしい英語で話すことを目標としています。

9053 英語科教育法(C) (随・3年次・4単位・通年) 松永 隆

前期は、listening/speaking/reading/writingの順番で具体的な指導方法や言語活動の組み立て方を、講義と演習形式で学んでいく。ビデオなどを活用し、できる限り現場の教師になったつもりで、模擬授業を数回行ってもらう。この際、新学習指導要領も参照しながら、中学校/高校の英語教育の現状と問題点や教師に求められるものは何かを考えてもらう。後期は、各種教授法の特長を学んでいく。

9054 英語科教育法(D) (随・3年次・4単位・通年) 丹下 省吾

外国語教育の目的、教授理論の変遷、英語科教育の現状と問題点、学習と指導に関する諸問題など、英語教育の理論と実践を扱う。

講義に加えて教室作業や課題提出を随時求める。出席重視。

テキスト：高梨庸雄・高橋正夫『英語教育学概論』（金星堂）

【外国語学部イスパニヤ科】

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
3101	イスパニヤの文化	1	必	2	木下 登	前期
3102	ラテンアメリカの文化	1	必	2	富野 幹雄	後期
3121	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₁) (一年用)	1	必	2	A. Cárdenas	(西) 1
C. Pavón					(西) 2	
F. Rey					(西) 3	
3131	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₂) (一年用)	1	必	2	A. Cárdenas	(西) 1
C. Pavón					(西) 2	
F. Rey					(西) 3	
3132	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₂) (一年用)	1	必	2	F. Rey	(西) 1
A. Cárdenas					(西) 2	
C. Pavón					(西) 3	
3221	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₃)	2	必	2	F. Rey	(西) 1
A. Cárdenas					(西) 2	
C. Pavón					(西) 3	
3222	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₃)	2	必	2	F. Rey	(西) 1
A. Cárdenas					(西) 2	
C. Pavón					(西) 3	
3231	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₄)	2	必	2	F. Rey	(西) 1
A. Cárdenas					(西) 2	
C. Pavón					(西) 3	
3232	イスパニヤ語Ⅱ (会話 ₄)	2	必	2	A. Cárdenas	(西) 2
C. Pavón					(西) 3	
F. Rey					(西) 1	
3241	イスパニヤ語Ⅱ (作文)	2	必	2	松下 マルタ	(西) 1、(西) 2
3242						
3251	イスパニヤ語Ⅱ (講読 ₁)	2	必	2	佐竹 謙一	(西) 1、(西) 2
3252						
3255	イスパニヤ語Ⅱ (講読 ₂)	2	必	2	大岩 勉	(西) 1
3256					坂田 幸子	(西) 2
					高橋 覚二	(西) 1
3261	イスパニヤ語Ⅱ (文法)	2	必	2	大岩 勉	(西) 2
3262						
3321	イスパニヤ語Ⅲ (会話)	3	必	2	C. Pavón	(西) 1、(西) 2、
3322						
3341	イスパニヤ語Ⅲ (作文)	3	必	2	F. Rey	(西) 1、(西) 2
3342						
3351	イスパニヤ語Ⅲ (講読)	3	必	2	芝 修身	(西) 1
3352					木下 登	(西) 2

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
3421 3422	イスパニヤ語Ⅳ(会話)	4	必	2	{ 松 下 マルタ A. Cárdenas	(西) 1 (西) 2
3441 3442	イスパニヤ語Ⅳ(作文)	4	必	2	{ F. Rey 松 下 マルタ	(西) 1 (西) 2
3451 3452	イスパニヤ語Ⅳ(講読)	4	必	2	{ 山 田 睦 男 芝 修 身	(西) 1 (西) 2
3271 3272	英 語 a (作文)	2	必	2	{ I. Harnett J. Vincenti	(西) 1 (西) 2
3371 3372	英 語 b (訳読)	3	必	2	{ 香 取 真理子 平 出 昌 嗣	(西) 1 (西) 2
3299	語学総合試験	2	必	0		
3301	演 習 I	3	必	4	木 下 登	
3302					佐 竹 謙 一	
3303					P. Simón	
3304					高 橋 覚 二	
3305					松 下 マルタ	
3306					富 野 幹 雄	
3307					安 原 毅	
3401	演 習 II	4	必	4	木 下 登	
3402					P. Simón	
3403					松 下 洋	
3404					松 下 マルタ	
3405					芝 修 身	
3406					富 野 幹 雄	
	A 群					
2501	言語学方法論	2	選	4	有 元 將 剛	英米科開講科目
3502	イスパニヤ語概説	2	選	4	大 岩 勉	
3503	イスパニヤ・ ラテンアメリカ文学概説	2	選	4	佐 竹 謙 一	
3504	イスパニヤ語音声学	3・4	選	4		本年度休講

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
3511	イスパニヤ・ラテン アメリカ文学特殊講義 (イスパニヤ文学)	3・4	選	4	有 本 紀 明	
3512	イスパニヤ・ラテン アメリカ文学特殊講義 (イスパニヤ作品研究)	3・4	選	4	佐 竹 謙 一	
3513	イスパニヤ・ラテン アメリカ文学特殊講義 (ラテンアメリカ短編小説)	3・4	選	4		本年度休講
3514	イスパニヤ・ラテン アメリカ文学特殊講義 (イスパニヤ思想)	3・4	選	4	木 下 登	
3521	イスパニヤ語学特殊講義 (現代イスパニヤ語文法)	3・4	選	4	高 橋 覚 二	
3522	イスパニヤ語学特殊講義 (スペイン語史)	3・4	選	4	大 岩 勉	
2560	記 号 論 理 学	2・3・4	選	4	服 部 裕 幸	文学部開講科目
2561	歴 史 ・ 比 較 言 語 学	3・4	選	4	西 脇 博	英米科開講科目
2563	意 味 論	3・4	選	4		本年度休講
2564	言 語 の 哲 学	3・4	選	4	服 部 裕 幸	文学部開講科目
2565	コミュニケーション論	3・4	選	4	岡 部 朗 一	英米科開講科目
2567	コミュニケーション 特 殊 講 義	3・4	選	4	近 藤 祐 一	英米科開講科目
	B 群					
3601	イ ス パ ニ ヤ 史	2	選	4	芝 修 身	
3602	ラ テ ン ア メ リ カ 史	2	選	4	野 田 隆	
2604	経 済 原 論	2	選	4	西 村 貞 雄	英米科開講科目
3603	経 済 原 論	2	選	4	安 原 毅	
3604	ラテンアメリカの政治	3・4	選	4		本年度休講
3606	ラテンアメリカの経済 (ブラジル)	3・4	選	4	富 野 幹 雄	
3607	ラテンアメリカの経済 (スペイン語圏)	3・4	選	4	安 原 毅	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
3608	イスパニヤ・ラテンアメリカの法制	3・4	選	4	黒田清彦	
3611	イスパニヤ・ラテンアメリカ史特殊講義	3・4	選	4	野田隆	
3615	イスパニヤ・ラテンアメリカ特殊研究 (ラテンアメリカ思想)	3・4	選	4	松下マルタ	
3617	イスパニヤ・ラテンアメリカ特殊研究 (メキシコ経済)	3・4	選	4	安原毅	
3618	イスパニヤ・ラテンアメリカ特殊研究 (都市論)	3・4	選	4	山田睦男	
5521	国際経済学	3・4	選	4	山田正次	経済学部開講科目
2676	国際経済学特殊講義	3・4	選	4	西村貞雄	英米科開講科目
2680	国際政治論	3・4	選	4		法学部開講科目
2682	国際政治論特殊講義	3・4	選	4	岩島久夫	英米科開講科目
2684	国際企業論	3・4	選	4	A. Iaquinto	経営学部開講科目 前期
5523	開発経済学	3・4	選	4	林尚志	経済学部開講科目
両群共通科目						
3701	商業イスパニヤ語Ⅰ	3・4	選	4	大岩勉	
3702	商業イスパニヤ語Ⅱ	4	選	4		本年度休講
3703	新聞イスパニヤ語	3・4	選	4	山田睦男	
3704	イスパニヤ語通訳法	3・4	選	4	小知和優江	他学科履修不可
3711	ブラジルポルトガル語 研究Ⅰ	3・4	選	4	富野幹雄	
3712	ブラジルポルトガル語 研究Ⅱ	4	選	4	富野幹雄	Ⅰを予備必修 のこと
自由科目						
1801	文学論	3・4	自	4	丸岡高弘	文学部開講科目
2591	商業英語	3・4	自	4	M. Wright	英米科開講科目

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
2686	外交史 I	3・4	自	4	明石陽至	英米科開講科目
2687	外交史 II	3・4	自	4	佐々木雄太	英米科開講科目
2805	産業組織論	3・4	自	4		本年度休講
5542	財政学	3・4	自	4	末重正行	経済学部開講科目
5543	金融論	3・4	自	4	荒井好和	経済学部開講科目
5811 5812	会計原理	3・4	自	4	白木俊彦	経済学部開講科目
5835	民法 I (1)	3・4	自	4	柳澤秀吉	経済学部開講科目
5851	商法 I	3・4	自	4	篠田四郎	経済学部開講科目
5871	行政法	3・4	自	4	市橋克哉	経済学部開講科目
6104	経営学総論	3・4	自	4	岸田民樹	経営学部開講科目 (前期+夏期集中)
6136	マーケティング論	3・4	自	4	中田善啓	経営学部開講科目 (隔週)
6305	情報処理概論 (Basic) 1	3・4	自	4	村本正生	経営学部開講科目
6306	情報処理概論 (Basic) 2	3・4	自	4	村本正生	経営学部開講科目
6307	情報処理概論 (Fortran)	3・4	自	4	井垣伸子	経営学部開講科目 (夏期集中)
6308	情報処理概論 (Cobol)	3・4	自	4	山田進	経営学部開講科目
6309	情報処理概論 (Pascal)	3・4	自	4	村本正生	経営学部開講科目
8001	憲法 I	3・4	自	4	小林武	法学部開講科目
8120	国際法 I	3・4	自	4	岡田泉	法学部開講科目
8390	国際私法	3・4	自	4	青木清	法学部開講科目
	随意科目					
3901	イスパニヤ語II 講読	2・3・4	随	2	芝修身	
3902	イスパニヤ語II 会話	2・3・4	随	2	E. Goicoechea	
3921	ブラジルポルトガル語II	2・3・4	随	2	富野幹雄	「ブラジルポルトガル語研究Ⅰ」(イスパニヤ科生用科目)で充当

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
3911	上級イスパニヤ語 I	3・4	随	2		「イスパニヤ語Ⅱ」 の講読、作文、会 話（イスパニヤ科 生用科目）のい ずれかで充当
3915	上級イスパニヤ語 II	4	随	2		「イスパニヤ科生用 「イスパニヤ語Ⅲ」 で充当
3925	上級ブラジル ポルトガル語 I	3・4	随	2	富野 幹雄	「ブラジルポルト ガル語研究Ⅱ」 （アスパニヤ科生 用科目）で充当
9071	イスパニヤ語科教育法	3	随	4	高橋 覚二	

【外国語学部イスパニヤ科】

講義概要

必修科目

3101 イスパニヤの文化 (必・1年次・2単位・前期) 木下 登
スペインの有する文化の豊かさを掘り起こしつつ、今後専門的講義を理解するための基礎知識の習得に努める。視聴覚教材を利用する。

3102 ラテンアメリカの文化 (必・1年次・2単位・後期) 富野 幹雄
ラテン・アメリカの歴史の概略、経済の特徴、同地域に関する開発理論、人種問題・外国からの移住、その他の事柄について話す予定。
教科書としては特定の本を使用しないが、読んで貰いたい文献は授業のときに指示する。

3121～3123
3131～3133 イスパニヤ語Ⅱ (会話1・2) (一年用) (必・1年次・2単位・通年)

A. Cárdenas
C. Pavón
F. Rey

Estudio del nivel básico de conversación en español a través de una gran variedad de actividades.

Esta es una clase activa y los estudiantes deberán participar en las distintas tareas programadas.

3221～3223
3231～3233 イスパニヤ語Ⅱ (会話3・4) (必・2年次・2単位・通年)

F. Rey
A. Cárdenas
C. Pavón

El objetivo de este curso es que los estudiantes aprendan a expresarse con cierta soltura en temas de la vida diaria.

Todos deberán participar activamente en los diálogos, entrevistas, actividades grupales, etc. que se organicen.

3241 イスパニヤ語Ⅱ（作文）（必・2年次・2単位・通年） 松 下 マルタ
3242

一年時で習得した知識をさらに広め、応用する。特に、言語訓練、テキストの内容の把握、文章表現の方法に重点を置いて学習する。

テキスト： *Módulos de español para extranjeros, nivel II*

3251 イスパニヤ語Ⅱ（講読1）（必・2年次・2単位・通年） 佐 竹 謙 一
3252

フランコの時代において新しい演劇をめざしたミゲール・ミウラの *Tres sombreros de copa* というユーモア劇を読んでいく。テキストについては授業中に指示する。

3255 イスパニヤ語Ⅱ（講読2）（必・2年次・2単位・通年） 大 岩 勉

比較的やさしいスペイン語の文章を読み、理解することにより、「読解力・表現力」の基礎を固めることを第一目的としたい。「español-españolの辞書」もかみならず使用して、かなりの時間を予習に当てて欲しい。

3256 イスパニヤ語Ⅱ（講読2）（必・2年次・2単位・通年） 坂 田 幸 子

スペイン19世紀の短編小説を選んで読んでゆく。テキストはプリントを使用する。

3261 イスパニヤ語Ⅱ（文法）（必・2年次・2単位・通年） 高 橋 覚 二

2年生の会話のテキストを文法的に説明。その後は系統的にスペイン語文法を解説する。

3262 イスパニヤ語Ⅱ（文法）（必・2年次・2単位・通年） 大 岩 勉

現代スペイン語の理解力を高めることを目的とします。一年次で学んだ文法を基礎にして、読解力と表現力をじっくりと養成したい。教材はすべてプリントにして配布します。

3321 イスパニヤ語Ⅲ（会話）（必・3年次・2単位・通年） C. Pavón
3322

En este curso, el objetivo es llevar a la práctica los conocimientos lingüísticos adquiridos en los niveles anteriores.

Puesto que se trate de una clase de conversación, todos los estudiantes deberán participar activamente en ella mediante los debates, diálogos y otras actividades que se organicen.

3341 イスパニヤ語Ⅲ (作文) (必・3年次・2単位・通年) F. Rey
3342

Estudio de la teoría de la composición en los niveles descriptivos narrativos. Práctica a través del análisis y del comentario de textos de autores contemporáneos; también a través de las composiciones que los estudiantes deberán escribir regularmente.

3351 イスパニヤ語Ⅲ (講読) (必・3年次・2単位・通年) 芝 修身
スペイン中・近世の日常生活に関する易しい歴史書を講読する。スペインに留学を志す学生に、同国の予備知識を与えることも目的とする。

3352 イスパニヤ語Ⅲ (講読) (必・3年次・2単位・通年) 木 下 登
現代スペインの代表的作家達によるエッセイを講読します。

3421 イスパニヤ語Ⅳ (会話) (必・4年次・2単位・通年) 松 下 マルク
Se usarán artículos de periódicos y revistas sobre temas de actualidad política, económica y cultural. Se organizarán los alumnos en grupos pequeños para la realización de debates.

3422 イスパニヤ語Ⅳ (会話) (必・4年次・2単位・通年) A. Cárdenas
El objetivo de este curso es el desarrollo de la habilidad para comunicarse oralmente de una forma efectiva. Las clases, que se basan en temas seleccionados por los estudiantes, requieren la participación activa en conversaciones, discusiones, y proyectos dentro y fuera de la universidad. La evaluación se basará principalmente en el grado de participación de los alumnos en todas las actividades que se lleven a cabo.

3441 イスパニヤ語Ⅳ (作文) (必・4年次・2単位・通年) F. Rey
3442 松 下 マルク

En base a un texto elaborado especialmente para esta clase, se enseñarán las técnicas de argumentación, resumen, entrevista y ensayo.

3451 イスパニヤ語Ⅳ (講読) (必・4年次・2単位・通年) 山 田 睦 男
地域研究に必要な専門語彙や表現に慣れ、十分な読解力をつけることを目指して、代表的な社会諸科学の術論文(別に指定)を教材に訳読を進める。

3452 イスパニヤ語Ⅳ（講読）（必・4年次・2単位・通年） 芝 修身
スペイン中・近世の社会、即ち、家族、結婚、名誉、宗教、メンタリティ等に関する歴史書を講読する。

3271 英語 a（作文）（必・2年次・2単位・通年） I. Harnett
3272 J. Vincenti

3371 英語 b（訳読）（必・3年次・2単位・通年） 香 取 真理子
3372 平 出 昌 嗣

3301 演 習 I（必・3年次・4単位・通年） 木 下 登
スペインは、A・セネカ以来今日に至るまで思想面においても多様性と共に豊かな内容を誇る国である。こうした思想史的背景を研究した後で、後半では現代スペインを代表する思想家 J・オルテガ・イ・ガセット 研究に的をしばっていく。
Texto : J. L. Abellán. *Panorama de la filosofía actual*, Madrid, 1978.

3302 演 習 I（必・3年次・4単位・通年） 佐 竹 謙 一
ゼミ I では中世を除くスペイン文学を現代に至るまでの広範囲にわたってとり扱うことにする。テーマなどは各自で選択してもらおうが、その前に文献の選び方、リサーチの方法から始め、各々の時代背景や生活環境をまず知ってもらうために資料を重点的に読んでいき、しばしば折りに触れ五～十分程度の発表をしてもらおう。また前期・後期一回づつそれぞれ異なるテーマで十枚程度のペーパーを提出してもらおうことにする。

3303 演 習 I（必・3年次・4単位・通年） P. Simón
・ラテンアメリカの現代の文学を有名な作家ルベン・ダリオを使用して簡潔に翻訳致します。（3）
・ *Cien años de Soledad* と題されて、1982年にノーベル賞を受賞したコロンビアの小説家の近年50年の小説を読解します。（5、6）
・後期はメキシコのファン・ルルフォの作品《Pedro Páramo》をとりあげて、他の有名な現代の作家—アルゼンチンのフリオ・コルタサルとキューバのアレホ・カルペンティエルをひき続き注釈します。
・私は純粹にスペイン語で講義をし、そして学生は日本語で自然に質問したり注釈をします。

3304 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 高橋 覚 二
現代スペイン語の文法的特徴、実際の表現を産みだす文法的根拠を求め体系化することを目的とする。

言葉は無意識のうちに獲得した規則に基づいて使う。その規則を整理したものが文法である。文法に基づいて、言語の運用能力を高めるための訓練が語学と呼ばれるものである。言葉はこのような実用的な面が重視されているが、この演習では客観的な分析の対象として、スペイン語の文法的規則や言語表現を産みだす理由とは何か、仕組みはどんなものであるか、それを体系的に記述していきたい。3年次ではスペイン語の全体像をつかむため Manuel Seco の *Gramática esencial de español* を読みます。

3305 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 松下 マルタ

Durante el primer semestre se analizarán los temas básicos del conflicto cultural, social y racial en Latinoamérica en base a “The Poverty of Progress”. En el segundo semestre cada alumno realizará un trabajo de investigación sobre el tema elegido.

3306 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 富野 幹 雄

ブラジル社会経済史、特に現代(1930年以降)における近代化の問題や人種関係に力点を置いて、勉強して行きたい。しかし、リサーチペーパーのテーマはそれに限定しない。

なお、本演習に参加する学生は資料等を読む必要があるので、ブラジルポルトガル語研究 I を同時に履修してもらいたい。

3307 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 安原 毅

近年のラテンアメリカで特に注目されている社会問題を、順次とり上げる。例えば累積債務、経済統合、民族問題、移民問題など。様々の立場から書かれたテキストを同時に用いて、ゼミ生による討論を中心に進める。

3401 演習 II (必・4年次・4単位・通年) 木下 登

3402 演習 II (必・4年次・4単位・通年) P. Simón

3403 演習 II (必・4年次・4単位・通年) 松下 洋

3404 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 松下 マルタ
Los alumnos continuarán con el desarrollo del tema elegido.

3405 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 芝 修身
各自が関心を持つテーマにそって研究を進め、リサーチ・ペーパー作成に向けて準備を行なう。

3406 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 富野 幹雄
各自が3年次に選択したテーマに関する研究発表を中心とする。
一応の目安として夏休み後の発表の時点までに最終的なテーマを決定して、11月初旬にはリサーチペーパーの構成を固め、12月には下書きに入れるように準備してもらいたい。

選 択 科 目

A 群

- 2501 言語学方法論 (選・2年次・4単位・通年) 有元 将剛
英米科2501「言語学方法論」参照。
- 3502 イスパニヤ語概説 (選・2年次・4単位・通年) 大岩 勉
スペイン語は、ポルトガル語、イタリア語、フランス語、ルーマニア語と同じようにラテン語から変化して成立した、ロマンス系の言語です。このスペイン語が、どのような変化の過程を経て、現在の形になったのか、スペイン語史の基礎的な部分を確実に把握できるように授業を進めてゆきたい。
スペイン語が有する特徴は何なのか、スペイン語は基本的に、どのような性格の言語なのかを理解するための基礎を固めるのがこの授業の目標となります。教材はプリントにして配布します。
- 3503 イスパニヤ・ラテンアメリカ文学概説 (選・2年次・4単位・通年) 佐竹 謙一
テキストはプリントで配布し、その中の重要な作家を中心に講義をすすめていく。スペイン文学は特に中世・黄金世紀に重点をおいて説明する予定であるが、できるだけ二十世紀の作家にまで言及したいと考えている。なお、ラテンアメリカ文学の方は時間に余裕があれば最後の一・二時間を割いて特に“ブーム”の作家について概説したい。
- 3511 イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義 (イスパニヤ文学)
(選・3・4年次・4単位・通年) 有本 紀明
[ピカレスク小説—「ラサリーリョ」の系譜—]
スペイン文学の最も特徴的なジャンルといえるピカレスク小説について。16世紀の「ラサリーリョ」から現代にいたる“ピカロ”の豊饒な伝統を、文学的・文化的な観点から追ってみたい。
テキスト： *La novela picaresca*, Antonio Rey Hazas, Anaya, 1990, Madrid.
- 3512 イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義 (イスパニヤ作品研究)
(選・3・4年次・4単位・通年) 佐竹 謙一
黄金世紀の劇作家カルデロン・デ・ラ・バルカの名誉劇 *El médico de su honra* を中心に読んでいき、当時の風習についても触れてみることにする。テキストは授業中に指示する。

- 3514 イスパニヤ・ラテンアメリカ文学特殊講義（イスパニヤ思想）
（選・3・4年次・4単位・通年） 木 下 登
前期は、スペインの多様性研究について、思想研究を軸にいくつかの視座を供すべく講義を行う。
後期には、各学生がひとつのテーマについて夏期休暇中に研究・作成したレポートに関して、更に考察を深めるとともに、発展し討論を重ねていく。
- 3521 イスパニヤ語学特殊講義（現代イスパニヤ語文法）
（選・3・4年次・4単位・通年） 高 橋 覚 二
コミュニケーションの手段としてのスペイン語に磨きをかけ、実際の場面や状況において充分に対応できる表現とは何なのかを検討する。テキストとして *Repertorio de funciones comunicativas del español* を使用。
- 3522 イスパニヤ語学特殊講義（スペイン語史）
（選・3・4年次・4単位・通年） 大 岩 勉
イスパニヤ語概説で学んだ基本をベースにして、スペイン語史に関して授業をします。教材は必要に応じて配布します。
- 2560 記号論理学 （選・2・3・4年次・4単位・通年） 服 部 裕 幸
英米科2560「記号論理学」参照。
- 2561 歴史・比較言語学 （選・3・4年次・4単位・通年） 西 脇 博
英米科2561「歴史・比較言語学」参照。
- 2564 言語の哲学 （選・3・4年次・4単位・通年） 服 部 裕 幸
英米科2564「言語の哲学」参照。
- 2565 コミュニケーション論 （選・3・4年次・4単位・通年）岡 部 朗 一
英米科2565「コミュニケーション論」参照。
- 2567 コミュニケーション特殊講義 （選・3・4年次・4単位・通年）
近 藤 祐 一
英米科2567「コミュニケーション特殊講義」参照。

選 択 科 目

B 群

3601 イスパニヤ史 (選・2年次・4単位・通年) 芝 修身

講義の概要は次の通りである。

- (I) レコンキスタの進展とその後世への影響
 - (II) 黄金世紀スペインの外交・軍事面における優位と経済的後進性
 - (III) 17世紀ヨーロッパの危機とスペインの衰退
 - (IV) 内戦に至った19～20世紀の社会・経済上の諸矛盾
- テキストを使用し、中・近世中心に講義する。

3602 ラテンアメリカ史 (選・2年次・4単位・通年) 野 田 隆

メキシコ史を中心に・

オルメカ文明にはじまる古代文明の発展、スペイン植民地時代、独立以後、そしてメキシコ革命(1910～20)後の現代まで、メキシコ史を概観しながら、あわせてラテンアメリカ史の流れを見ていきたい。

<参考書>国本・畑・細野『概説メキシコ史』(有斐閣、1984)

増田義郎『インディオ文明の興亡』(世界の歴史 7)(講談社、1984)

加茂雄三『ラテンアメリカの独立』(世界の歴史 23)(講談社、1978)

国本伊代『概説ラテンアメリカ史』

2604 経済原論 (選・2年次・4単位・通年) 西 村 貞 雄

英米科2604「経済原論」参照。

3603 経済原論 (選・2年次・4単位・通年) 安 原 毅

(経済理論の入門)

貯蓄と投資、国際収支といった、地域研究を行う際に有用となる経済学の道具立てを解説する。とりあえず新聞の経済記事を読みこなせることを目標としたい。テキストは後日指定する。

3606 ラテンアメリカの経済 (選・3・4年次・4単位・通年) 富 野 幹 雄
(ブラジル)

ラテンアメリカ経済を理解する手掛りとして、ブラジル経済の歴史的形成過程の考察を中心に講義する。時間的に可能ならば、ラテンアメリカ地域全般にかかわる問題についても言及したい。

テキスト：『ブラジル、その歴史と経済』(啓文社、1990)

参 考 書：『概説ブラジル史』(有斐閣、1988年)、『ブラジル史』(文庫クセジュ、白水社、1980)、等

3607 ラテンアメリカの経済（スペイン語圏）

（選・3・4年次・4単位・通年）

安原 毅

[ラテンアメリカ（スペイン語圏）の経済構造]

ラテンアメリカ各国の経済構造を、20世紀初頭にまで逆上って解説する。テキストには『ラテンアメリカ経済の危機』（アジア経済研究所）を用いるが、同書はすでに入手困難なのでコピーを配布する。また、従属理論、中心—周辺論といったラテンアメリカ独自の経済理論についても、できる限り時間をとって説明したい。

3608 イスパニヤ・ラテンアメリカの法制

（選・3・4年次・4単位・通年）

黒田 清彦

法学部8435「イベロ法」参照。

3611 イスパニヤ・ラテンアメリカ史特殊講義

（選・3・4年次・4単位・通年）

野田 隆

現代メキシコのナショナリズム

芸術革命（壁画運動）・労働者保護政策・農地改革・石油国有化・民族産業育成・自主独立外交などを中心に、現代メキシコにおける民族主義的諸改革を検討してみたい。2年次の「ラテンアメリカ史（メキシコ史概説）」未修者は、概説書を読んでおくこと。

〈参考書〉 国本伊代『概説ラテンアメリカ史』

3615 イスパニヤ・ラテンアメリカ特殊研究（ラテンアメリカ思想）

（選・3・4年次・4単位・通年）

松下 マルタ

Se analizarán las grandes corrientes del pensamiento a partir de la independencia. Se estudiará el liberalismo de la independencia, el romanticismo historicista, el positivismo, el idealismo, el nacionalismo y el indigenismo en sus vinculaciones con el pensamiento marxista. Se usará como texto “Las corrientes del pensamiento latinoamericano” y los alumnos deberán leer algunas obras de los pensadores estudiados.

3617 イスパニヤ・ラテンアメリカ特殊研究（メキシコ経済）

（選・3・4年次・4単位・通年）

安原 毅

[メキシコの経済危機]

1980年代のメキシコの経済危機について、政治・経済構造の視点から検討する。テキストとしては『歪められた発展と累積債務』（D. パーキン著、岩波書店）を使用する予定。本書は同国の農業の国際化を中心に経済自由主義を批判した物で、経済学の知識は特に必要とはしない。

- 3618 イスパニヤ・ラテンアメリカ特殊研究（都市論）（選・3・4年次・4単位・通年） 山田 睦 男
「イベリア・ラテン・アメリカ都市史、都市問題」
都市史は、ローマ期、先コロンビア期以降現代までを対象とし、都市問題は、現在のラテン・アメリカを中心に、経済、政治、社会、文化、居住、環境などの諸側面を含む学際的な分析を試みる。各学期の評価法は、おもに筆記試験とするが、少なくとも1回は各自が選定し、かつ（重複を避けるため）事前に講師の承認を受けた主題についての400字詰め10枚程度の小論文が課されよう。主要参考文献一覧は、別に配布する。
- 5521 国際経済学（選・3・4年次・4単位・通年） 山田 正 次
経済学部5521「国際経済学」参照。
- 2676 国際経済学特殊講義（選・3・4年次・4単位・通年） 西村 貞 雄
英米科2676「国際経済学特殊講義」参照。
- 2680 国際政治論（選・3・4年次・4単位・通年）
英米科2680「国際政治論」参照。
- 2682 国際政治論特殊講義（選・3・4年次・4単位・通年） 岩島 久 夫
英米科2682「国際政治論特殊講義」参照。
- 2684 国際企業論（選・3・4年次・4単位・前期） A. Iaquinto
経営学部6251「多国籍企業論」参照。
- 5523 開発経済論（選・3・4年次・4単位・通年） 林 尚 志
経済学部5523「開発経済学」参照。

両群共通科目

- 3701 商業イスパニヤ語Ⅰ (選・3・4年次・4単位・通年) 大岩 勉
海外との取引で使用されているスペイン語は、様々な分野に及び、その実態はきわめて多岐にわたる。この授業では、現在においても依然として中心的な存在である商業書簡について、その基礎的な部分を確実に理解し、スペイン語による文章表現力をしっかりと身につけることを目的とする。
- 3703 新聞イスパニヤ語 (選・3・4年次・4単位・通年) 山田 睦 男
スペインとラテン・アメリカの現状を理解するために役立つ新聞や雑誌記事を読む。具体的な教材は、時宜を得たものを決めて配布する。
- 3704 イスパニヤ語通訳法 (選・3・4年次・4単位・通年) 小知和 優 江
イスパニヤ語から日本語へ、又、その逆を口頭で即時に訳す練習をする。
- 3711 ブラジルポルトガル語研究Ⅰ (選・3・4年次・4単位・通年)
富野 幹 雄
イスパニヤ語との差異に注意しながら、ブラジルのポルトガル語の文法の基礎を学ぶ。
テキスト：『スペイン語からポルトガル語へ』(大学書林、1989)
練習問題はプリントにして授業時に配布する。
- 3712 ブラジルポルトガル語研究Ⅱ (選・4年次・4単位・通年)
富野 幹 雄
ポルトガル語の基礎文法を修得した学生を対象とした、さらに読解力を養うことを目的とした授業。
主としてブラジルの文化に関するプリントを使う予定です。

自由科目

- 1801 文学論 (自・3・4年次・4単位・通年) 丸岡 高 弘
文学部1801「文学論」参照。
- 2591 商業英語 (自・3・4年次・4単位・通年) M. Wright
英米科2591「商業英語」参照。
- 2686 外交史Ⅰ (自・3・4年次・4単位・通年) 明石 陽 至
英米科2686「外交史Ⅰ」参照。

- 2687 外交史Ⅱ（自・3・4年次・4単位・通年） 佐々木 雄 太
英米科2687「外交史Ⅱ」参照。
- 5542 財 政 学（自・3・4年次・4単位・通年） 末 重 正 行
経済学部5542「財政学」参照。
- 5543 金 融 論（自・3・4年次・4単位・通年） 荒 井 好 和
経済学部5543「金融論」参照。
- 5811 会 計 原 理（自・3・4年次・4単位・通年） 白 木 俊 彦
5812 経済学部5811、5812「会計原理」参照。
- 5835 民 法 I（自・3・4年次・4単位・通年） 柳 澤 秀 吉
経済学部5835「民法I」参照。
- 5851 商 法 I（自・3・4年次・4単位・通年） 篠 田 四 郎
経済学部5851「商法I」参照。
- 5871 行 政 法（自・3・4年次・4単位・通年） 市 橋 克 哉
経済学部5871「行政法」参照。
- 6104 経営学総論（自・3・4年次・4単位・前期+夏期集中） 岸 田 民 樹
経営学部6104「経営学総論」参照。
- 6136 マーケティング論（自・3・4年次・4単位・隔週） 中 田 善 啓
経営学部6136「マーケティング論」参照。
- 6305 情 報 処 理 概 論（自・3・4年次・4単位・通年） 山 田 進
6309 村 本 正 生
経営学部6305～6309「情報処理概論」参照。（集中） 井 垣 伸 子
- 8001 憲 法 I（自・3・4年次・4単位・通年） 小 林 武
法学部8001「憲法I」参照。

8120 国際法Ⅰ (自・3・4年次・4単位・通年) 岡田 泉
法学部8120「国際法Ⅰ」参照。

8390 国際私法 (自・3・4年次・4単位・集中) 青木 清
法学部8390「国際私法」参照。

随意科目

3901 イスパニヤ語Ⅱ (講読) (随・2・3・4年次・2単位・通年) 芝 修身

最初は1年次の文法も復習しながら、易しい読み物から始めたい。読解力の向上とともに、文学作品、新聞など種々取上げ、中級レベルの読解力を身につけたい。

3902 イスパニヤ語Ⅱ (会話) (随・2・3・4年次・2単位・通年) E. Goicoechea

3921 ブラジルポルトガル語Ⅱ (随・2・3・4年次・2単位・通年) 富野 幹雄
「ブラジルポルトガル研究Ⅰ」で充当

3911 上級イスパニヤ語Ⅰ (随・3・4年次・2単位・通年)
「イスパニヤ語Ⅱ」の講読、作文、会話(イスパニヤ科生用科目)で充当。
ただし、イスパニヤ語Ⅱ会話(1年生用)は除く。

3915 上級イスパニヤ語Ⅱ (随・4年次・2単位・通年)
イスパニヤ科生用「イスパニヤ語Ⅲ」で充当。

3925 上級ブラジルポルトガル語Ⅰ (随・3・4年次・2単位・通年) 富野 幹雄
「ブラジルポルトガル研究Ⅱ」(イスパニヤ科生用)で充当。

9071 イスパニヤ語科教育法 (随・3・4年次・4単位・通年) 高橋 覚二

【外国語学部日本語学科】(1992年度以前に入学した学生に適用)

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	必修科目					
4101	日本語学概論 a	1	必	2	駒井 明	前期 他学科履修不可
4102	日本語学概論 b	1	必	2	加藤 俊一	前期 他学科履修不可
4103	日本語学概論 c	1	必	2	曾我松 男	前期 他学科履修不可
4111	日本語教育概論	1	必	2	伴 紀子 阿部 泰明 土田 友章 町田 奈々子	後期
4201	日本語学基礎演習	2	必	2	曾我松 男	後期 他学科履修不可
4206	日本文化基礎演習	2	必	2	土田 友章	前期 他学科履修不可
4211	日本文化概論	2	必	4	土田 友章	
4315	現代日本語の構造 I	3	必	4	駒井 明	
4316	現代日本語の構造 II	3	必	4	曾我松 男	
4311	日本語史	3	必	4	進藤 義治	他学科履修不可
4325	日本文学	3	必	4	美濃部 重克	他学科履修不可
4321	外国語教育方法論	3	必	4	L. Hanzel	他学科履修不可
4301	演 習 I	3	必	4	曾我松 男	他学科履修不可
4302	演 習 I	3	必	4	町田 奈々子	他学科履修不可
4411	日本語教育実地研究 a	4	必	4	伴 紀子	他学科履修不可
4412	日本語教育実地研究 b	4	必	4	阿部 泰明	他学科履修不可
4413	日本語教育実地研究 c	4	必	4	土田 友章	他学科履修不可
4401	演 習 II	4	必	4	加藤 俊一	他学科履修不可
4402	演 習 II	4	必	4	伴 紀子	他学科履修不可
4403	演 習 II	4	必	4	阿部 泰明	他学科履修不可
4404	演 習 II	4	必	4	土田 友章	他学科履修不可

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	選 択 科 目					
4501	日本語資料研究(1)	2	選	4	丸 山 徹	
4502	日本語資料研究(2)	2	選	4		本年度休講
4511	日本文化研究	2	選	4	J.Swyngedouw	前期、週2回
4521	外書講読(日本語学)	2	選	4	阿 部 泰 明	
4522	外書講読(日本語教育)	2	選	4	伴 紀 子	
4523	外書講読(日本文化)	2	選	4	町 田 奈々子	
4530	国際英語 I	3	選	4	C. B. Wordell	他学科履修不可
4531	日本語特殊講義(1)	3・4	選	4	曾 我 松 男	
4532	日本語特殊講義(2)	3・4	選	4	阿 部 泰 明	
4533	日本語特殊講義(3)	3・4	選	4	田 中 春 美	
4541	日本語教育特殊講義(1)	3・4	選	4	加 藤 俊 一	
4542	日本語教育特殊講義(2)	3・4	選	4	伴 紀 子	
4543	日本語教育特殊講義(3)	3・4	選	4	中 野 清	
4544	日本語教育特殊講義(4)	3・4	選	4	松 永 隆	他学科履修不可
4551	日本文化特殊講義(1)	3・4	選	4	J.Swyngedouw	前期、週2回
4552	日本文化特殊講義(2)	3・4	選	4	土 田 友 章	
4553	日本文化特殊講義(3)	3・4	選	4	竹 内 敏 晴	後期、週2回
4554	日本文化特殊講義(4)	3・4	選	4	櫻 井 進	
4560	国際英語 II	4	選	4	B. Wagner	他学科履修不可
	自 由 科 目					
4801	日本文学史	3・4	自	4	安 田 文 吉	文学部開講科目
4811	日本文学講読 I	3・4	自	4	大 谷 俊 太	文学部開講科目
4812	日本文学講読 II	3・4	自	4	福 長 進	文学部開講科目
4821	日本文学特殊講義 I	3・4	自	4	美濃部 重 克	文学部開講科目
4822	日本文学特殊講義 II	3・4	自	4	大 谷 俊 太	文学部開講科目

【外国語学部日本語学科】（1993年度に入学した学生に適用）

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
必修科目						
4101	日本語学概論 a	1	必	2	駒井 明	前期 他学科履修不可
4102	日本語学概論 b	1	必	2	加藤 俊一	前期 他学科履修不可
4103	日本語学概論 c	1	必	2	曾我松 男	前期 他学科履修不可
4111	日本語教育概論	1	必	2	伴 紀子	後期
					阿部 泰明	
					土田 友章	
					町田 奈々子	
4211	日本文化概論	2	必	4	土田 友章	
4301	演習 I	3	必	4	曾我松 男	他学科履修不可
4302	演習 I	3	必	4	町田 奈々子	他学科履修不可
4401	演習 II	4	必	4	加藤 俊一	他学科履修不可
4402	演習 II	4	必	4	伴 紀子	他学科履修不可
4403	演習 II	4	必	4	阿部 泰明	他学科履修不可
4404	演習 II	4	必	4	土田 友章	他学科履修不可
選択科目						
4501	日本語資料研究(1)	2	選	4	丸山 徹	
4502	日本語資料研究(2)	2	選	4		本年度休講
4511	日本文化研究	2	選	4	J.Swyngedouw	前期、週2回
4521	外書講読(日本語学)	2	選	4	阿部 泰明	
4522	外書講読(日本語教育)	2	選	4	伴 紀子	
4523	外書講読(日本文化)	2	選	4	町田 奈々子	
4201	日本語学基礎演習	2	選	2	曾我松 男	後期 他学科履修不可
4206	日本文化基礎演習	2	選	2	土田 友章	前期 他学科履修不可
4315	現代日本語の構造 I	3	選	4	駒井 明	
4316	現代日本語の構造 II	3	選	4	曾我松 男	
4311	日本語史	3	選	4	進藤 義治	他学科履修不可

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
4325	日本文学	3	選	4	美濃部 重 克	他学科履修不可
4321	外国語教育方法論	3	選	4	L. Hanzel	他学科履修不可
4530	国際英語 I	3	選	4	C. B. Wordell	他学科履修不可
4531	日本語特殊講義(1)	3・4	選	4	曾 我 松 男	
4532	日本語特殊講義(2)	3・4	選	4	阿 部 泰 明	
4533	日本語特殊講義(3)	3・4	選	4	田 中 春 美	
4541	日本語教育特殊講義(1)	3・4	選	4	加 藤 俊 一	
4542	日本語教育特殊講義(2)	3・4	選	4	伴 紀 子	
4543	日本語教育特殊講義(3)	3・4	選	4	中 野 清	
4544	日本語教育特殊講義(4)	3・4	選	4	松 永 隆	他学科履修不可
4551	日本文化特殊講義(1)	3・4	選	4	J.Swyngedouw	前期、週2回
4552	日本文化特殊講義(2)	3・4	選	4	土 田 友 章	
4553	日本文化特殊講義(3)	3・4	選	4	竹 内 敏 晴	後期、週2回
4554	日本文化特殊講義(4)	3・4	選	4	櫻 井 進	
4560	国際英語 II	4	選	4	B. Wagner	他学科履修不可
4411	日本語教育実地研究 a	4	選	4	伴 紀 子	他学科履修不可
4412	日本語教育実地研究 b	4	選	4	阿 部 泰 明	他学科履修不可
4413	日本語教育実地研究 c	4	選	4	土 田 友 章	他学科履修不可
自由科目						
4801	日本文学史	3・4	自	4	安 田 文 吉	文学部開講科目
4811	日本文学講読 I	3・4	自	4	大 谷 俊 太	文学部開講科目
4812	日本文学講読 II	3・4	自	4	福 長 進	文学部開講科目
4821	日本文学特殊講義 I	3・4	自	4	美濃部 重 克	文学部開講科目
4822	日本文学特殊講義 II	3・4	自	4	大 谷 俊 太	文学部開講科目

【外国語学部日本語学科】

講義概要

必修科目

- | | | |
|------|-------------------------|-------|
| 4101 | 日本語学概論 a (必・1年次・2単位・前期) | 駒井 明 |
| 4102 | 日本語学概論 b (必・1年次・2単位・前期) | 加藤 俊一 |
| 4103 | 日本語学概論 c (必・1年次・2単位・前期) | 曾我松 男 |

言語学的視点から日本語を研究・分析する方法とその結果を概観し、日本語教育にとって、どのような知識・研究が必要かを考察する。学生は積極的に授業活動に参加することが期待され、自分の意見をはっきり述べる訓練も同時に行う。

- | | | |
|------|------------------------|----------------------------------|
| 4111 | 日本語教育概論 (必・1年次・2単位・後期) | 伴 紀子
阿部 泰明
土田 友章
町田 奈々子 |
|------|------------------------|----------------------------------|

担当教員はそれぞれの専門分野の立場から外国語としての日本語教育の原理、内容、方法について概観し、日本語教師に求められている基本的知識と役割を考察する。

- | | | |
|------|-------------------------|-------|
| 4201 | 日本語学基礎演習 (必・2年次・2単位・後期) | 曾我松 男 |
|------|-------------------------|-------|

英語の構造との対比において日本語の構造を考察し、誤用例などの分析を通して日本語の構造に対する理解を深めることを目指す。

- | | | |
|------|-------------------------|-----------------------|
| 4206 | 日本文化基礎演習 (必・2年次・2単位・前期) | 土田 友章
[柳田国男と日本民俗学] |
|------|-------------------------|-----------------------|

普通の日本人の生活を考えるよすがともし、日本の近・現代の学問を反省するための手がかりともすべく、柳田を批判的に読む。

テキスト：『遠野物語』、『先祖の話』、『海上の道』、その他。

- | | | |
|------|-----------------------|-------|
| 4211 | 日本文化概論 (必・2年次・4単位・通年) | 土田 友章 |
|------|-----------------------|-------|

前期では、文化とは何か、文化の研究法、日本文化史の時代区分などを、考えてゆく。後期では、E. ヘリゲル、李御寧などの日本文化論をとりあげ検討する。

- 4311 日本語史 (必・3年次・4単位・通年) 進藤義治
[日本語の語彙の歴史]
1. 源氏物語が平安時代語彙一般の中でどのような偏りを持っているか分析する。
2. 平安時代語と中世近世語の性格の違いを考察する。
3. 現代語と近世語の語彙的性格の変化を考察する。
テキスト・参考書はプリントを作成配布する。そのプリントに参考文献を列挙しておく。
- 4315 現代日本語の構造 I (音声) (必・3年次・4単位・通年) 駒井明
日本語で使われている音声の特徴を様々な角度から観察し、日常生活で無意識に使い分けている音声を少しでも客体化して見られるような素質を養う。また、外国語教育で問題となる「外国語なまりの日本語」が音声学的にどう異なっているのかを考察し、効果的な発音矯正法を考える。
- 4316 現代日本語の構造 II (文法) (必・3年次・4単位・通年) 曾我松男
[現代日本語の意味と文法]
現代日本語の意味論的、文法的構造体系を考察する。日本語の構造を分析する能力を培うことを目的とする。テキストに、久野暉の『日本文法研究』(1973、大修館)を使用する。
- 4321 外国語教育方法論 (必・3年次・4単位・通年) L. Hanzel
We will examine the theoretical assumptions and principles underlying the teaching and learning of a second language, comparing this at times with the learning of one's mother tongue. The practical aspects of learning a second language will also be discussed.
- 4325 日本文学 (必・3年次・4単位・通年) 美濃部重克
泉鏡花『春昼』『春昼後刻』、夏目漱石『彼岸過迄』、三島由起夫『金閣寺』、川端康成『雪国』を分析的に読むことを通して、日本文学の特質を考える。
教科書：いずれも新潮文庫
- 4301 演習 I (必・3年次・4単位・通年) 曾我松男
[生成文法と日本語]
生成文法の視点から日本語の統語構造を考察する。教科書に、柴谷方良の『日本語の分析』(1978年、大修館)を使う。学期末には Term Paper を書くことが要求され、四年次の Research Paper の練習とする。

4302 演習Ⅰ (必・3年次・4単位・通年) 町田 奈々子
[日本語学と日本語教育の関連領域]

日本語学における諸問題について、日本語教育との関連を考慮しながら検討する。教科書には寺村秀夫の『日本語の意味とシンタクスⅠ・Ⅱ・Ⅲ』を用いるが、後期には基本的な論文を日本語または英語で読むことも要求される。

4411 日本語教育実地研究 a (必・4年次・4単位・通年) 伴 紀子

4412 日本語教育実地研究 b (必・4年次・4単位・通年) 阿部 泰明

4413 日本語教育実地研究 c (必・4年次・4単位・通年) 土田 友章

日本語教育の多面性を理解するために、日本語学、日本文化、日本語教育の立場から実践指導を行う。外国人留学生別科の授業見学の他に、各種の日本語教育機関の授業を見学し、初級、準中級、中級レベルの教案作成と模擬実習をする。その後の実習は、教場をLL教室と普通教室を使い、各々の練習を担当する。

4401 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 加藤 俊一
[日本語教育]

前半は Alice C. Omagio の Teaching Language in Context を教材にして、日本語教育への具体的応用を考察する。後半は卒業研究に各自が選んだテーマについての発表を中心にし、討議をしていく。文法項目や語句が表現意図とどのように関わっているかを調べ、それらを効果的に学習させる方法は何かということ进行研究したい学生を主な対象にしたい。

4402 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 伴 紀子
[日本語教育法]

今までに学んだ日本語の基本的な教育方法を基にして、現場の諸問題を総括的に、かつ具体的に検討していく。後期はリサーチ・ペーパーの指導を行う。また各自選んだ研究について中間研究発表をし、皆で討議する。

4403 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 阿部 泰明
[現代言語理論と日本語の分析]

演習Ⅰで学習した言語理論の成果を用いて、より具体的な日本語に関する研究を取り上げる。前期は主にこの分野での最近の論文を読んで行く。後期は各人が選んだテーマに沿って研究を進め、その報告を行う形で進める。文献・資料収集、問題点の整理、分析、Draft の執筆を順次行い、途中経過を報告していくこととする。

4404 演習Ⅱ (必・4年次・4単位・通年) 土田 友章
[日本文化論、道の探究(Ⅱ)]

日本文化を論じた重要文献のいくつかを渉猟しながら、日本文化を総合的に考え

てみたい。後期では、主として卒業研究の指導をおこなう。

選 択 科 目

- 4501 日本語資料研究(1) (選・2年次・4単位・通年) 丸 山 徹
[語学書としてのキリシタン文献]
語学書としてのキリシタン文献について考える。まず、ラテン語・ポルトガル語の文字論、形態論を共に学び、続いてそれらを背景に成立したアフリカ・ブラジル・インド・中国の(ポルトガル語で書かれた)原地語文法書、辞書を概観、その後で日本におけるキリシタン文献文法書、辞書について共に考える。
- 4511 日本文化研究 (選・2年次・4単位・前期) J. Swyngedouw
国際化社会の到来や、それに対する日本の貢献を念頭に置きながら、とくに外国人の理解をうながす方向で、現代日本人の文化構造を支えている基本的価値体系を概観する。
- 4521 外書講読(日本語) (選・2年次・4単位・通年) 阿 部 泰 明
英語で書かれた文献を現代言語学の基礎を学習する目的で読んで行く。教材は後で指定する。言語とはどのようなものかを検討しながら、日本語の特徴を随時取り上げて議論していく。
- 4522 外書講読(日本語教育) (選・2年次・4単位・通年) 伴 紀 子
最近の言語教育理論は言語学習に重きを置くようになった。英文テキストの講読を通してその基礎知識を習得し、日本語教育にどのように適用するかを考える。また言語教育に使われる用語を理論的な枠組みの中で理解できるようにする。テキストはプリントを配布する。
- 4523 外書講読(日本文化) (選・2年次・4単位・通年) 町 田 奈 々 子
[日本語と日本の社会]
英語で書かれた文献を、日本文化の中でも特に言語との関連の深い領域から選び、内容について話し合う。毎回担当分を要約して来ることが要求される。教材はプリントの形で配布される。
- 4530 国際英語 I (選・3年次・4単位・通年) C. B. Wordell
In International English I, students will study, discuss, and write about current information and news items in printed and video international English news. Students will be encouraged to subscribe to English publications and view English video broadcasts. Students will

keep a news journal of their work. Study materials will come from news video and print media originating in Japan, the United States, Britain, the Philippines, Hongkong, and Korea. Regular attendance is required because video instruction will be in class.

4531 日本語特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年) △曾 我 松 男
現代日本語における時制とアスペクトを一般理論との関連において分析し考察する。テキストは、Tense and Aspect in Modern Colloquial Japanese であるが、関連する論文を併読する。

4532 日本語特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年) 阿 部 泰 明
[Special Seminar in Japanese Linguistics]
This course will be offered bilingually (i. e. in English and in Japanese). We will attempt to construct a reasonably comprehensive Generative Grammar for (a fragment of) the Japanese language. Students are encouraged to present their own ideas in class and to participate in discussion.

Xerox copies will be provided for reading assignments.

Due to the nature of the course, there will be a restriction on the class size. Auditors are permitted only if there is remaining space.

4533 日本語特殊講義(3) (選・3・4年次・4単位・通年) 田 中 春 美
[日英両語の対照]
対照研究の一般論を概観し、その上で日英両語の対照を音声・形態・統語・語彙(と意味)のそれぞれについて実践してみる。それを参考に、受講者各自にプロジェクトを立ててもらい、具体的調査に基づきレポートを学年末に提出してもらう。必要に応じてプリントを配布するが、テキスト・参考書も後日指定する。

4541 日本語教育特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・通年) △加 藤 俊 一
教授内容を印象的にまたはより明瞭に提示したり、実際の場面を感じさせたりするために、いろいろな視聴覚教材が利用されている。教材の種類、利用状況、教授法の変化に伴う利用方法の変化、総合的な伝達能力の獲得を重視する映像教材の使い方などについて学習する。教室で実際に使用できる視聴覚教材の作成を課す予定である。

4542 日本語教育特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年) 伴 紀 子
初級段階の日本語教育の総合的な基礎知識を得るために、初級日本語の教科書を

解説し、1) 各課の会話文の配置、2) 初級日本語文法の体系的な文法知識の習得、3) 練習方法、4) 副教材の作り方などを中心に検討する。

テキストは Supplementary Grammar Notes to An Introduction to Modern Japanese, Part 1 & 2 である。

4543 日本語教育特殊講義(3) (選・3・4年次・4単位・通年) 中野 清

[日本語でディベートはどこまで可能か]

ここでは、受講者どうしが日本語でディベートをおこなう。めざすところは、ディベートにおける、相対立する立場に立つてのことばのやりとりを実際に体験することを通して、受講者自身のコミュニケーション能力を高めることである。また、ディベートの会話に適さないとされる日本語の特質がなにに起因するのか、ディベート的発想での日本語での会話がどこまで可能であるかをさぐってゆきたい。

4544 日本語教育特殊講義(4) (選・3・4年次・4単位・通年) 松永 隆

このクラスは、Language testing (外国語の評価法) の授業である。外国語科目の新学習指導要領に対応していくためには、どのような評価の仕方が望まれるのかを一緒に考えていく。特に、リスニング・リーディングのスキル (語彙や文法のテストを含む) を中心にして、学習者の到達度や教育・指導効果を評価するためのテスト作成法を実際に体験しながら学んでいく。具体的なテスト作成は英語で行うが、その他の外国語科目についてもかなり参考になると思う。なお、後期の一部では成績管理など教育評価に必要な基礎的な統計処理についても実習 (パソコン室を使用) を行う予定である。

4551 日本文化特殊講義(1) (選・3・4年次・4単位・前期) J. Swyngedouw

本年度は、とくに異文化コミュニケーションの諸問題を中心にして、西洋人の日本観を参考にしながら日本文化の様々な側面を検討する。

4552 日本文化特殊講義(2) (選・3・4年次・4単位・通年) 土田 友章

[日本人の死生観]

日本人は古来、人間の死と生をどのように考えてきたのだろうか。仏教、神道、民俗の資料にわたって考察し、さらに、現代日本人の死をめぐる、生命倫理学の視野においても検討する。

4553 日本文化特殊講義(3) (選・3・4年次・4単位・後期) △竹内 敏晴

「からだ」と「ことば」]

話しことばとは、ひとが、人間存在全体を挙げて他者とかかわろうとする行動の、音声的部分である。それ故、この講義では、実際にからだを動かし、話しかけ、あ

るいは歌いながら、行動（働きかけ）と音声、日本語の発声発音の基本などに気づいてゆき、さらに日本語に現われている人間関係の特性に考えを及ぼしたい。

4554 日本文化特殊講義(4) (選・3・4年次・4単位・通年) 櫻井 進

[社会変動期における文化・宗教・権力]

社会変動期における文化・宗教・権力のダイナミズムを19世紀の日本をとりあげ、ミシェル・フーコー（『監獄の誕生—監視と処罰』・『言葉と物』）や、H. D. ハルットゥーニアン（Things Seen and Unseen）などを参照＝準拠しながら検討する。テキストは随時指示する。

4560 国際英語Ⅱ (選・4年次・4単位・通年) B. Wagner

Building on the skills taught in the first year, International English II will develop the ability to evaluate electronic and print media which is of significance to students who are about to assume a role in the global community. In addition to reading current news publications, viewing timely video segments from the U.S., Japan and other nations, and discussing related subjects, students will write about issues examined in class. Regular attendance and a student project will be required.